

CHOFU

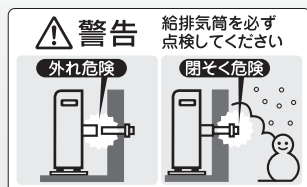
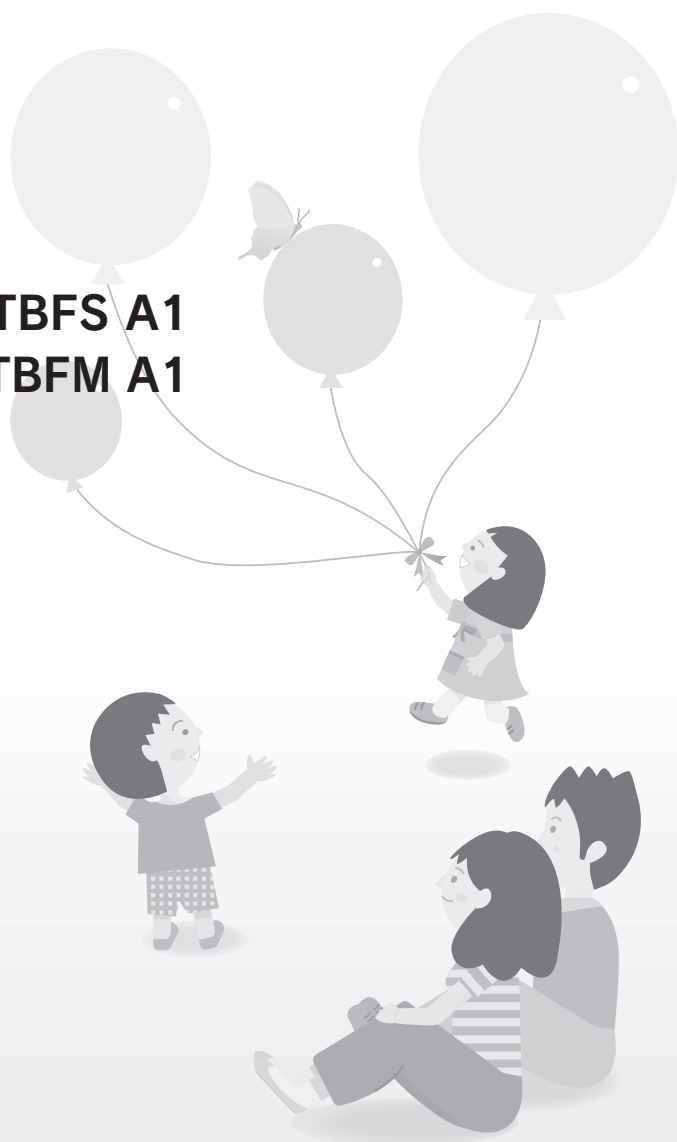
石油暖房機
〔密閉式石油ストーブ〕

取扱説明書 (保証書付)

型名

SUNPot UFH-994TBFS A1

SUNPot UFH-994TBFM A1



お客様ご自身による工事は危険です。
据付け工事は販売店や専門業者にご依頼ください。
(ストーブを移設させる場合も同じです。)

このたびは長府製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は大切に保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
- 保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入されていることを必ず確認してください。
- 製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

もくじ

ご使用前に	特に注意していただきたいこと2~8 使用する場所8 各部のなまえ9~12 ● 外観図9~10 ● 表示部11 ● 操作部12
準備	使用前の準備13~14 ● 燃料13 ● 給油13 ● 点火前の準備と確認13~14
使用方法	使用方法15~27 ● 運転切替15 ● 点火16 ● 室温調節17 ● 火力調節18 ● 湯温調節19 ● 消火20 ● 使用上の注意21 ● 時刻合せ22 ● タイマー運転23~26 ● eco（エコ）運転27~28 ● チャイルドロック29 ● おしえてNavi機能30~31 安全装置32 その他の装置33
点検・その他	日常の点検・手入れ34~36 定期点検37 設計上の標準使用期間について38~39 故障・異常の見分け方と処置方法40~44 部品交換のしかた45 保管45 仕様46~47 アフターサービス48 据付け・移設49~53
保証書	保証書 巻末

特に注意していただきたいこと

安全のために必ずお守りください

この取扱説明書には本機を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項が表示されています。

表示内容をよくご理解いただき、本文をお読みください。

●ここに示した事項は  警告、 注意に区分しています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●イラスト（まんが）の横にあるマークは次のように表しています。



マーク

禁止



マーク

指示



マーク

注意

特に注意していただきたいこと つづき

⚠ 警告(WARNING)

ガソリン厳禁

- ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。
火災の原因になります。



ガソリン厳禁

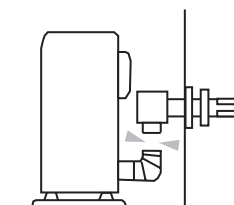


給排気筒(管、ホース)外れ危険

- 給排気筒(管、ホース)が外れたまま使用しないでください。
外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。



禁止

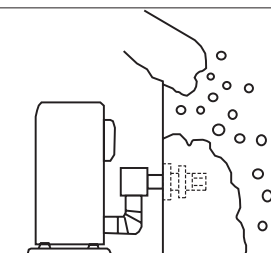


給排気筒トップ閉そく危険

- 給排気筒トップの周りが雪でふさがれたまま使用しないでください。ふさがれているときは、除雪してください。
閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。



禁止

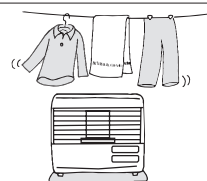


衣類の乾燥厳禁

- 衣類などの乾燥には使用しないでください。
衣類が落下して火がつき、火災の原因になります。



衣類乾燥禁止



温風吹出口をふさがない

- 衣類、紙などで温風吹出口や空気取入口をふさがないでください。
衣類、紙などでふさぐと、火災の原因になります。



禁止

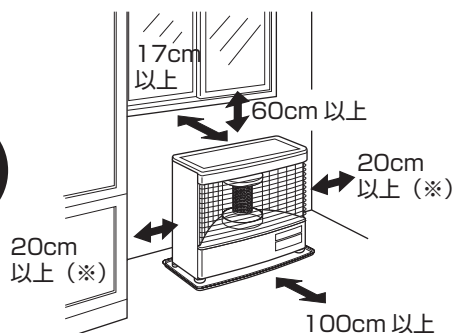


可燃物近接厳禁

- カーテン・布団や毛布など燃えやすいもののそばなどで使用したり、ストーブや排気管に近づけないでください。
火災の原因になります。
可燃物とは図に示す距離を確保してください。
詳細は標準据付け例(49～50ページ)を参照してください。



禁止



※保守点検のため20cm以上離してください。

安全のために必ずお守りください

⚠ 警告(WARNING)

低温やけどに注意

- 長時間皮膚の同じ場所に触れないでください。比較的低い温度(40~60℃)でも低温やけどや脱水症状の原因になります。



注意

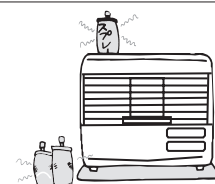


スプレー缶厳禁

- スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを、温風のあたるところやストーブの上や前に(周囲に)放置しないでください。熱で缶の圧力が上がり、爆発して危険です。



禁止

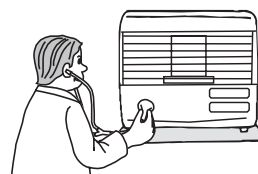


定期点検の実施

- 定期的(2年に1回程度)に点検・整備を受けてください。点検を受けずに長期間使用し続けると、故障や事故の原因になり危険です。点検・整備はお買い求めの販売店や資格者のいる店に依頼してください。



必ず行う



ご自身での据付け・移設工事の厳禁

- お客様ご自身による工事は危険です。据付け工事は販売店や専門業者にご依頼ください。(ストーブを移設させる場合も同じです。)



禁止

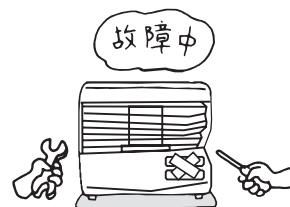


改造・分解禁止

- 改造して使用しないでください。また、ストーブや排気筒には床暖房用の熱交換器などを取り付けしないでください。火災や排ガスが室内に漏れる原因となり危険です。
- 改造・分解して使用しないでください。改造・分解は、ストーブの安全性を損なうため火災など思わぬ事故の原因になります。
- 故障、破損したら、使用しないでください。不完全な修理は、危険です。



分解禁止



外付け装置による遠隔操作厳禁

スマートフォン、IT機器を使ってストーブのスイッチを操作する外付け装置(※)は安全性を確認できないため、使用しないでください。

※操作ボタン付近に設置し、インターネット通信等を介して、操作ボタンを入り切りできる装置。



禁止



特に注意していただきたいこと つづき

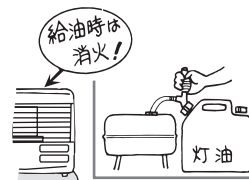
⚠ 注意(CAUTION)

給油時消火

- 火災のおそれがありますので、給油は、必ず消火し、火の気のないところで行ってください。



必ず行う

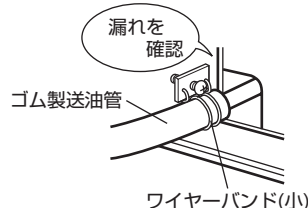


油漏れ確認

- 油タンク・ゴム製送油管・接続部・送油バルブおよびストーブなどから灯油漏れがないことを確認の上で使用ください。
灯油が漏れていると火災のおそれがあります。



必ず行う

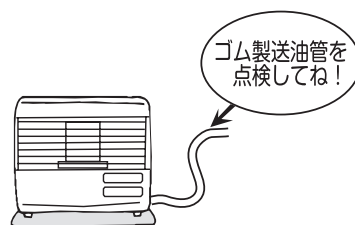


ゴム製送油管の点検・交換

- ゴム製送油管を少し曲げてひび割れや亀裂があった場合は交換してください。ゴム製送油管は時間と共に劣化しますので、ひび割れや亀裂などがない場合でも2～3年に1度は新しいものに交換されることをお奨めします。
交換しないと灯油の漏れにつながり、火災のおそれがあります。



必ず行う

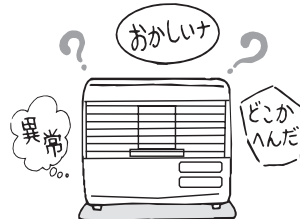


異常・故障時使用禁止

- 油漏れやにおい、すすの発生、炎の色、エラーを繰り返すなど異常や故障と思われるときは使用しないでください。
事故の原因になります。
「故障・異常の見分け方と処置方法」に従って処置してください。



禁止

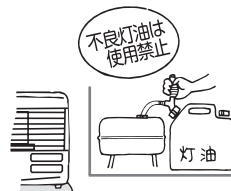


不良灯油使用禁止

- 変質灯油（持ち越した灯油など）、不純灯油（灯油以外の油・水・ごみが混入した灯油等）などの不良灯油を使用しないでください。
異常燃焼のおそれがあります。



禁止

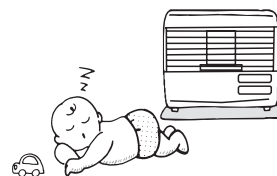


温風に直接あたらない

- 温風に直接長時間あたらないでください。
低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。



禁止



安全のために必ずお守りください

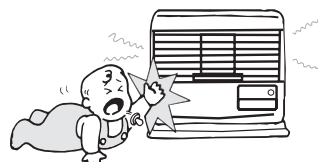
⚠ 注意(CAUTION)

高温部(やけど)に注意

- 燃焼中や消火直後は、高温部（前面ガードなど）、排気筒（給排気筒トップ）に手などふれないでください。やけどのおそれがあります。



高温注意

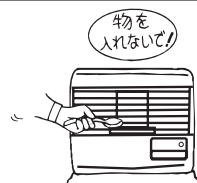


指や異物を入れない

- ガード内や空気取入口などに指や異物を入れないでください。
けがや火災のおそれがあります。



禁止



腰をかけたり物をのせない

- ストープの上にのったり、腰をかけたりしないでください。
ストーブの故障ややけどのおそれがあります。
- ストープの上に花瓶や水を入れたものなどを置かないでください。
水がかかると漏電や故障のおそれがあります。



禁止

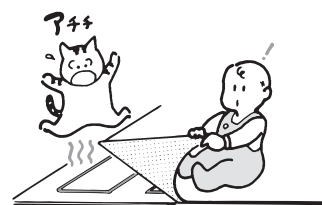


カーペットのはがれに注意

- カーペットがずれたり、めくれたまま使用しないでください。
床パネルに直接触れると、やけどのおそれがあります。



注意



循環水(不凍液、補充液)の保管に注意

- 循環水(不凍液、補充液)は幼児の手の届かない所に保管してください。
万一、飲んだ場合にはすぐに吐かせて、医師の診断を受けてください。



注意

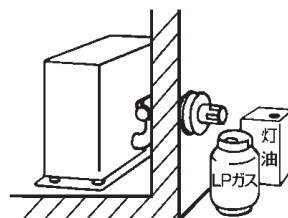


給排気筒付近の可燃物近接禁止

- 給排気筒トップの近くに、灯油や可燃物など引火のおそれのあるものを置かないでください。
火災のおそれがあります。



禁止



特に注意していただきたいこと つづき

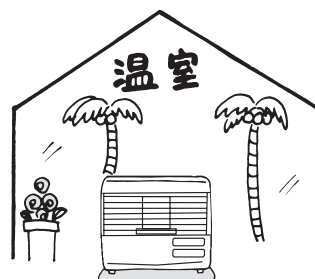
⚠ 注意(CAUTION)

特殊な場所での使用禁止

- ストープは居室の暖房用としてつくられたものですので、乾燥室、温室、飼育室などでは絶対に使用しないでください。また、クリーニング店、美容院など化学薬品を使用する場所では使用しないでください。
化学薬品などの影響により異常燃焼や故障の原因になります。



禁止

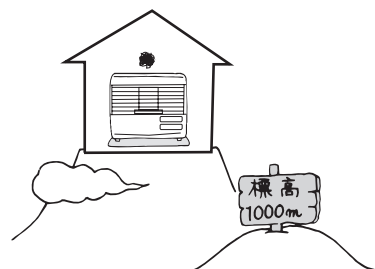


高地注意

- 標高1000m未満でご使用ください。
標高1000m～1500mで使用する場合は調整が必要です。
(詳しくは、工事説明書の 延長給排気方式・高地使用時の工事方法 を参照してください。)
そのまま使用しますと、空気不足となり、異常燃焼の原因になります。
- 標高1500mを超える高地では使用できません。



注意

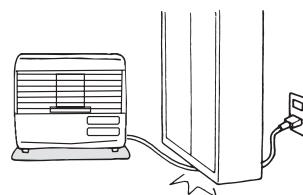


電源コードを傷めない

- 電源コードに無理な力を加えたり、物をのせたりしないでください。また、電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。
火災や感電の原因になります。



禁止

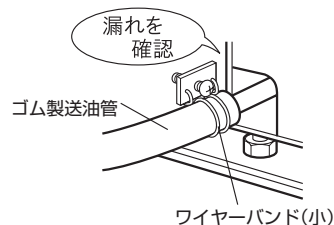


油漏れ確認

- 油タンク・ゴム製送油管・接続部・送油バルブおよびストープなどから灯油漏れがないことを確認の上で使用ください。
灯油が漏れていると火災のおそれがあります。



必ず行う

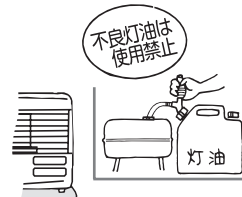


不良灯油使用禁止

- 変質灯油(持ち越した灯油など)、不純灯油(灯油以外の油・水・ごみが混入した灯油等)などの不良灯油を使用しないでください。
異常燃焼のおそれがあります。



禁止



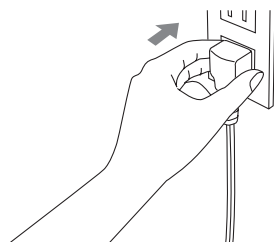
⚠ 注意(CAUTION)

電源プラグは確実に差し込む

- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。(また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。) 火災の下人になります。
- めれた手で抜き差しはしないでください。感電の原因になります。



必ず行う

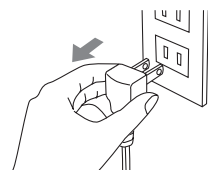


長期間使用しないときは電源プラグを抜く

- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。火災や予想しない事故の原因になります。



プラグを抜く

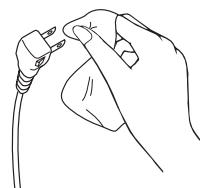


電源プラグのお手入れをする

- ときどきは電源プラグを抜き、ほこり(及び金属物)を除去してください。(ほこりがたまると湿気なって絶縁不良になり) 火災の原因になります。



必ず行う



お願い(NOTICE)

灯油の廃棄

- 灯油の廃棄処分は、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。

使用する場所

ストーブを安全に使用するためには、場所の選定が大切です。

場所の選定は「据付け場所の選定及び標準据付け例」の項をお読みください。(49～50ページ参照)

効果的に使用するために

- 冷たい外気に接する窓ぎわや壁側に据付けると、冷気が暖められて対流しますので効果的です。
- ストーブの前方に障害物があると、部屋の温度にむらができる原因になります。

次の場所では使用しないでください。火災や予想しない事故の原因になります。

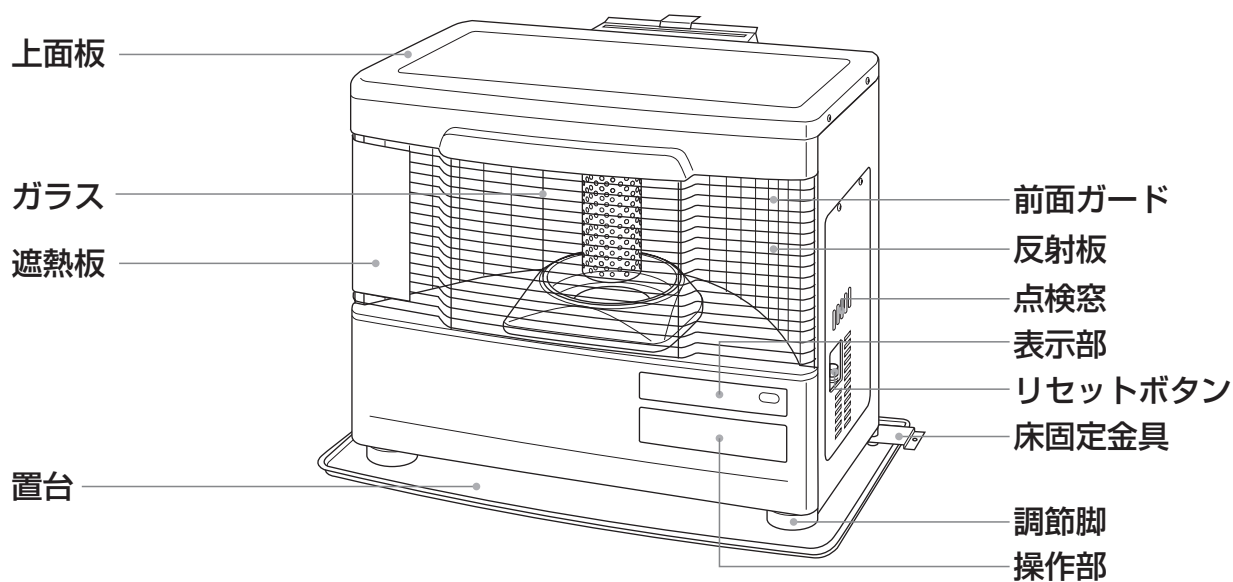
- 水平でない場所、不安定な場所
- 不安定な物をのせた棚などの下
- 可燃性ガスの発生する場所またはたまる場所
- 付近に燃えやすいものがある場所
- 階段、避難口などの付近で避難の支障となる場所
- 温室、飼育室など人のいない場所
- 標高 1500mを超えるの高地

各部のなまえ

■外観図

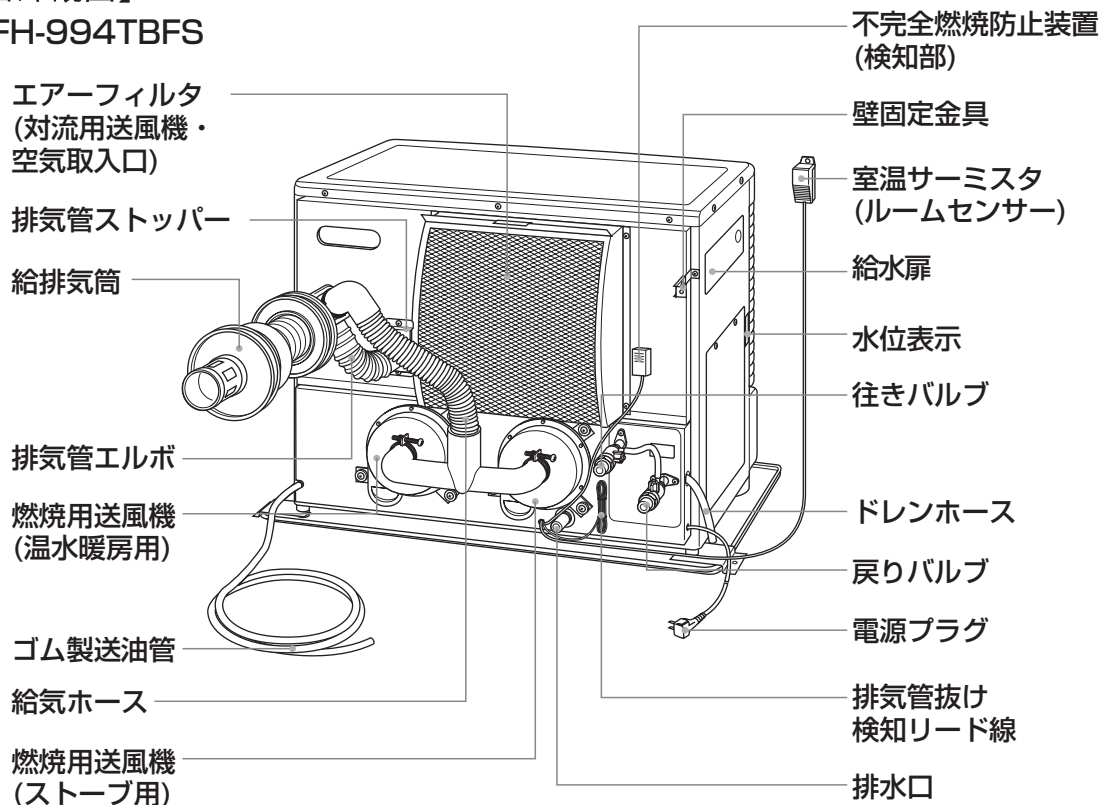
【正面外観図】

■UFH-994TBFS/UFH-994TBFM共通

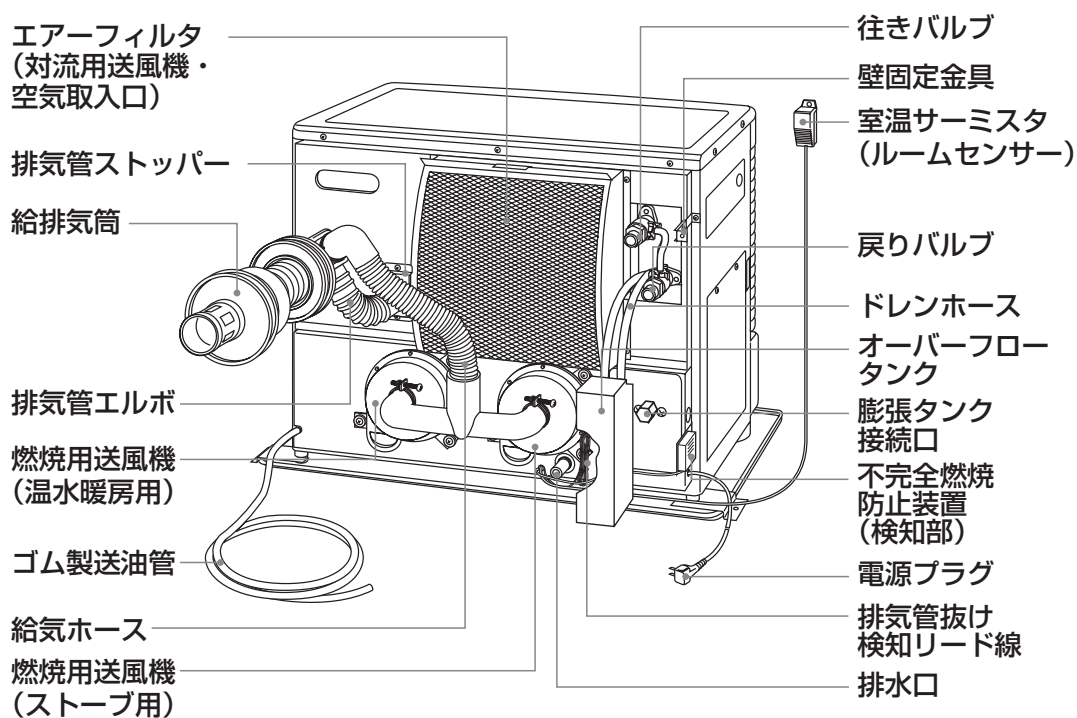


【背面外観図】

■UFH-994TBFS



■UFH-994TBFM



各部のなまえ つづき

表示部

今日表示

- 「今日」を表示…
今日の灯油使用量を表示
- 「日」を表示…
 - 前日の灯油使用量を表示
 - 灯油使用量と使用日数を表示

時計表示

- :-- 点滅表示…
- 電源プラグをコンセントに差し込んだとき
 - 停電後、再通電したとき
 - 時刻設定していないとき

温水暖房表示

- 表示…温水暖房運転中
- 点滅…消火後再点火したとき

チャイルドロック表示

- 表示…
チャイルドロック「入」

ストーブ表示

- 表示…ストーブ運転中
- 点滅…消火後再点火したとき

温度表示部

- 運転スイッチ入
 - 自動運転…設定温度、現在温度、火力を表示
 - 手動運転…現在温度、火力を表示
 - 温水暖房運転…現在温度、湯温を表示
 - おしえてボタンを押したとき…灯油使用量を表示
 - チェックモード表示
 - 点検時期お知らせ機能表示
 - 何も表示しないとき…停電中、省電力表示中
- ※バックライトの明るさを調節することができます

運転ランプ（レッド）

- 点灯…運転中

運転スイッチ

運転の開始及び消火



入/切



給水表示

表示…循環水の不足

午前・午後表示

午前・午後の表示

燃焼表示

表示…温水暖房燃焼中

自動表示

表示…自動運転中

手動表示

表示…手動運転中

火力表示

表示…火力の大きさを表示

ℓ表示

表示…灯油の使用量を表示中

灯油表示

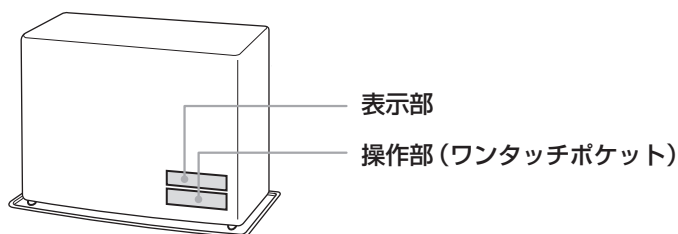
表示…灯油の使用量を
表示中

eco（エコ）表示

- 表示…eco(エコ)運転中
- 点滅…eco(エコ)運転中に室温が設定室温と同じ又はそれ以上になった（消火中も点滅）

タイマー・時刻・合せ表示

- 「時刻」「合せ」を点滅表示…
現在時刻の設定を表示中
- 「タイマー」「合せ」を点滅表示…
タイマー時刻の設定を表示中
- 「タイマー」を表示…タイマー運転予約中

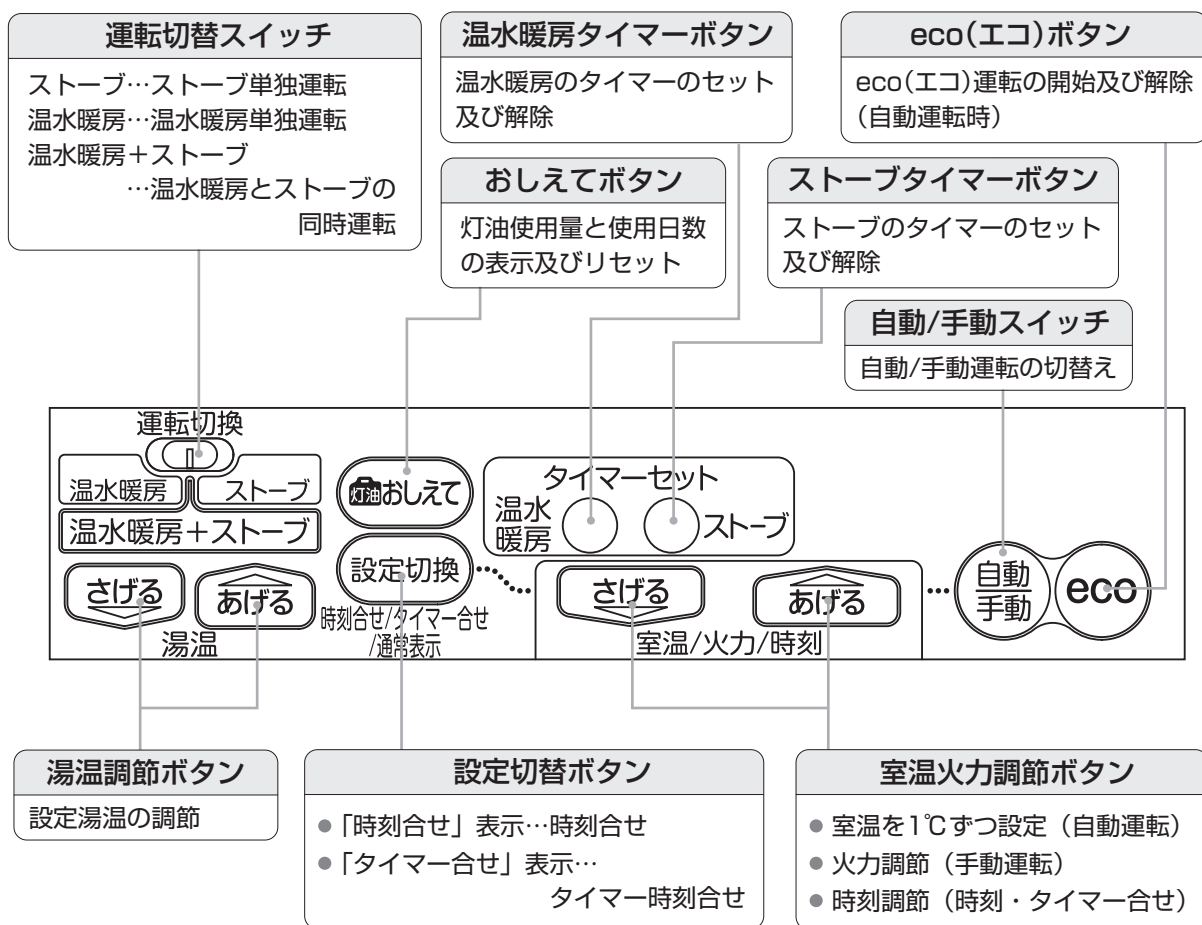


操作部

- 操作部は、ワンタッチポケットを軽く押し込むと、ゆっくり開きます。軽く押し戻すと、ロックして閉まります。



- 操作するとき以外は、閉じて使用してください。
- 操作ボタンを押すと受付音（「ピッ」音）を発して、受け付けたことをお知らせします。
- 誤ったボタンを押すと「ピッピッ」音を発して、受け付けないことをお知らせします。



使用前の準備

燃料

- 燃料は、灯油(JIS1号灯油)を必ず使用してください。
- 不良灯油(変質灯油、不純灯油)は、絶対に使用しないでください。
- 不良灯油(変質灯油、不純灯油)とは、
 - ・変質灯油：古い灯油(ひと夏持ち越した灯油)、日当たりがよい場所に保管した灯油、温度が高い場所に保管した灯油など。
 - ・不純灯油：灯油以外の油(ガソリン、シンナー、天ぷら油、機械油、重油など)がほんの少しでも混入した灯油。また、水やごみが混入した灯油。
- 変質灯油や不純灯油などの不良灯油を使用すると、ストーブの故障の原因になります。

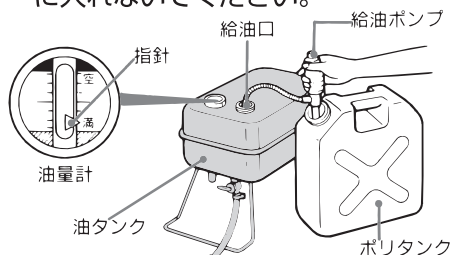
給油

給油はストーブを消火してから行ってください。

1 油タンクの送油バルブを閉める

2 油タンクの給油口ふたを外し、給油する

- 油量計の表示が「満」の印以上には絶対に入れないでください。



3 給油口ふたを確実に閉める

4 こぼれた灯油はよくふきとる



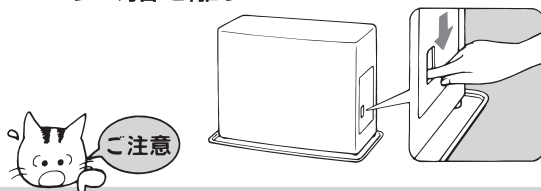
- 油タンクは空にしないでください。
「空」まで燃焼させるとストーブより「ボン」と音がしたり、すすが発生し、故障の原因になります。
- 給油するときは、ごみなどが入らないよう注意してください。
燃焼不良の原因になります。

■ 点火前の準備と確認

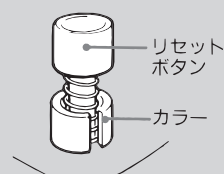
1 定油面器安全装置のセット

- 初めて使用するときやシーズン初めには、リセットボタンを押してください。
据付けや、ストーブに強い振動をあたえたとき、定油面器の安全装置が作動して、油を流しません。
点火操作後、油タンクに灯油が入っていても『E-03』『E-33』『E-05』『E-35』のチェックモード表示が出たときは、リセットボタンを押して、安全装置を解除してください。

リセットボタンを軽く押し、
すぐ指を離す



- リセットボタンは燃焼中、むやみにさわらないでください。
- 絶対にカラーを外して、押さないでください。

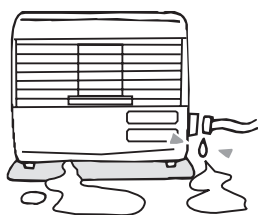


2 油漏れの確認

- ゴム製送油管やストーブの置台に油漏れがないか確認してください。
万一、油漏れしている場合は送油バルブを閉め、必ずお買い求めの販売店又は最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。



禁止

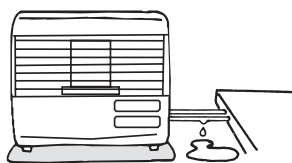


3 水漏れの確認

- 温水配管接続部から水漏れがないか確認してください。
万一、水漏れしている場合は温水（行き・戻り）バルブを閉め、必ずお買い求めの販売店又は最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。



禁止

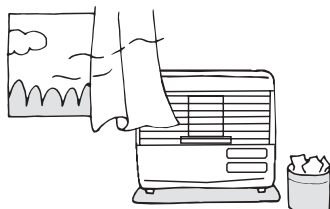


4 ストーブ周囲の確認

- ストーブの周囲及び給排気筒トップの周囲に引火物や可燃物がないか確認してください。
火災や予想しない事故が発生するおそれがあります。



禁止

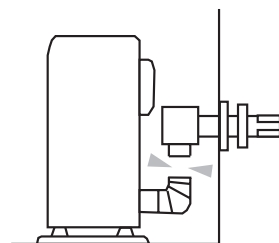


5 給気ホース・排気管の接続の確認

- 給気ホース・排気管が正しく接続されているか確認してください。
外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて、大変危険です。

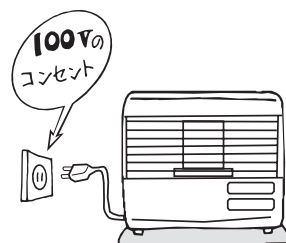


禁止



6 電源プラグの接続

- 電源プラグはコンセント（家庭用 AC100V）に差し込んであるか確認してください。



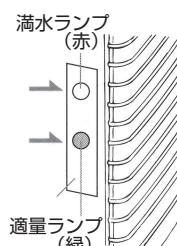
7 循環水の水位確認（UFH-994TBFMは除く）

- ストーブ左側面の水位表示で循環水の水位を確認してください。確認は、必ずストーブが停止し、循環水が冷えた状態で行ってください。（補給方法35ページ参照）
満水ランプ（赤）が点灯したままで、ストーブを運転すると、循環水があふれることがあります。

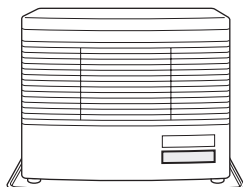
水位表示の見方

適量ランプ	満水ランプ	状態
● 点灯	● 点灯	入れ過ぎ
● 点灯	○ 消灯	適量
○ 消灯	○ 消灯	給水時期

※電源コンセントを抜いた状態では水位表示されません。



使用方法



1

運転切替

● ストーブ運転と温水暖房運転の切替えに使用します。

1 運転切替スイッチを希望の位置に合せる

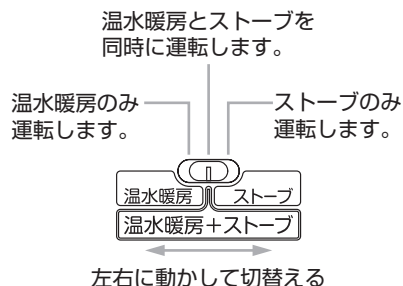
- 運転切替スイッチの切替えて、次の3種類の運転が選べます。

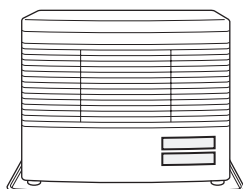
① 「温水暖房+ストーブ」

…温水暖房運転とストーブ運転を同時に行います。

② 「温水暖房」 …温水暖房だけの単独運転を行います。

③ 「ストーブ」 …ストーブだけの単独運転を行います。





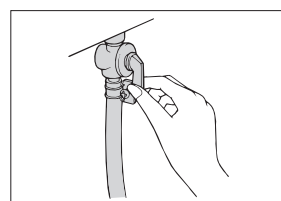
省電力表示について

運転スイッチが「切」で機器が停止中、ボタンを押さない状態が2分以上続くと省電力表示となり、表示部の表示が全て消えます。この状態から操作する場合は、運転スイッチを除くいずれかのボタンを一度押して表示部を表示させた後、各操作を行ってください。

2

■ 点火

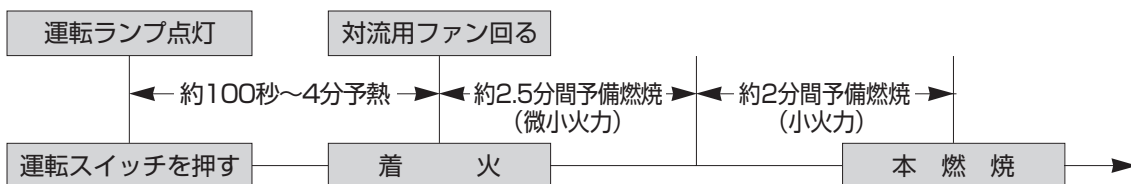
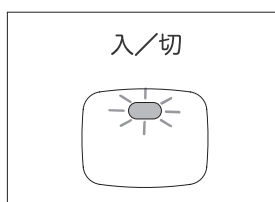
1 油タンクの送油バルブを開く



2 運転スイッチを押して、「入」にする

ストーブ運転

- 運転ランプが点灯し、約100秒～4分予熱後着火します。(室温・外気温により着火までの時間は変動します。)
- 予熱後、対流用ファンが回り、約4.5分間予備燃焼を行います。



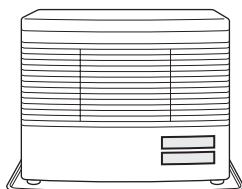
温水暖房運転

- 温水暖房を表示し、約100秒～4分予熱後着火とともに燃焼が表示します。
- 約4.5分間小火力で予備燃焼を行った後に循環水温度に応じた油量で燃焼します。



- 点火の際には、ガラス(ストーブ側)及点検窓(温水暖房側)より着火を確認してください。着火しない場合は、油タンクの送油バルブの開放や定油面器のリセットボタンを確認してください。
- 運転スイッチを「入」にし、デジタル表示部に『E-19』のチェックモードが表示された場合は、排気管の接続が不十分であったり、排気管抜け検知リード線が正しく接続されていないためです。運転スイッチをいったん「切」にし、ストーブが停止したのち点検して確実に接続してから、運転スイッチを「入」にしてください。
- 温水暖房運転の場合、現在温度が設定温度よりも高い場合は点火しません。現在温度が設定温度より10℃下がると自動的に点火します。

使用方法 つづき



■ 室温調節(ストーブ) 自動運転

- 設定室温と現在温度に応じて、自動的に火力を変え運転します。

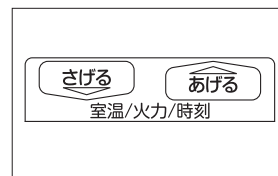
1 自動/手動ボタンを押して、自動運転にする

- 『自動』と設定温度及び現在温度を表示し、「自動運転します」と音声でお知らせします。

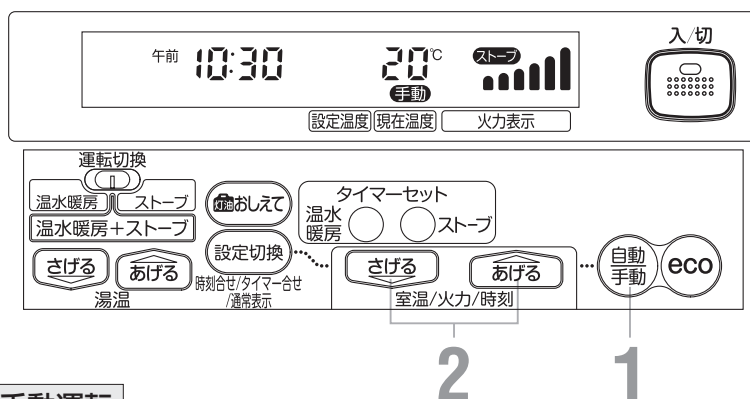
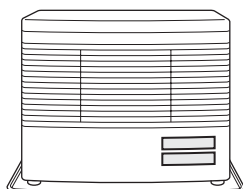


2 室温・火力調節ボタンの「さげる」「あげる」を押して、お好みの室温を設定する

- 「さげる」又は「あげる」ボタンを押すと1℃づつ変化します。
- 室温の設定範囲は「12～32」℃で、設定を変更すると「室温の設定を**℃に変更しました」と音声でお知らせします。
- 対流用送風機は、火力に応じて6段階で回転数が変化します。
- 火力は火力表示6段階で表示します。
- 現在温度は「5～35」℃の範囲で表示されます。
ただし、現在温度が5℃未満で『L O』、35℃を超えると『H I』の文字表示となります。
- 設定室温の数字は室温のめやすです。設置条件によっては必ずしも室温と一致しません。
- 設定室温は一度設定すれば記憶されますが、停電の場合には解除され自動的に「24」℃に設定されます。



- 自動運転では消火は行わないため、比較的暖かい時期や設置条件によっては設定温度より室温が上がる場合があります。この場合はeco運転をご使用ください。燃焼・消火を繰り返し、室温を調節します。(27～28ページ参照)
- 現在室温が10℃以下のときに自動運転で点火、またはタイマー点火すると、現在室温が設定室温より2℃低い室温になるまで最大火力で燃焼し、その後現在室温に応じた火力に切り替わります。
ただし、手動運転で点火、またはタイマー点火したとき、運転開始後に自動・手動ボタンを押したとき、eco運転による再点火のときは、現在室温が設定室温より2℃低い室温になるまで最大火力で燃焼する運転は解除されます。



■ 火力調節(ストーブ) 手動運転

● 設定した火力で運転を続けます。室温による火力調節はしません。

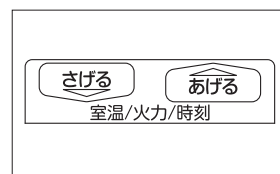
1 自動/手動ボタンを押して、手動運転にする

- 『手動』と火力表示、現在温度を表示し、「手動運転します」と音声でお知らせします。



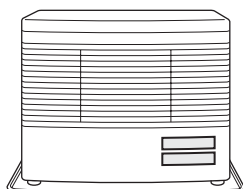
2 室温・火力調節ボタンの「さげる」「あげる」を押して、お好みの火力を設定する

- 火力は火力表示6段階で表示されます。
- 火力の設定を変更すると「火力を上げました」、「火力を下げました」と音声でお知らせします。
- 対流用送風機は、火力に応じて6段階で回転数が変化します。
- 火力は一度設定すれば記憶されますが、停電の場合には解除され自動的に自動運転の「24」℃に設定されます。



- 燃焼中に炎がかたよったり、赤火が混ったり、また上下変動することがありますが、異常ではありません。
- 燃焼中「カチカチ」音がすることがありますが、電磁ポンプの運転音で異常ではありません。

使用方法 つづき



1

湯温調節(温水暖房)

- 循環水が設定した湯温に近づけるように、火力を自動的に調節します。

1 ボタンの「さげる」「あげる」を押して、お好みの湯温に設定する

- ボタンを押すと2℃づつ変化します。
- 湯温の設定範囲は「40～64」℃です。
- 湯温の設定を変更すると、「温水暖房の温度を**℃に変更しました」と音声でお知らせします。
- 設定湯温になるように火力が調節されます。
現在湯温が設定湯温より約6℃以上高くなると消火します(燃焼表示消灯)。循環水温度が低くなると自動的に点火します。
- 湯温調節は循環水の温度を調節するもので、数字は湯温のめやすです。床面温度を調節するものではありません。
- 床暖房の床表面温度はカーペットの種類などの設置条件によって、循環水の温度より10～20℃低くなります。



48℃ 40℃

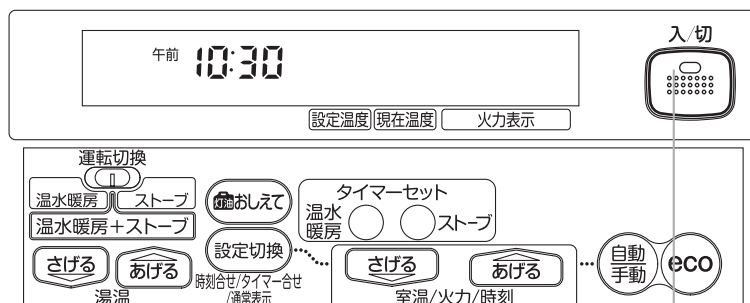
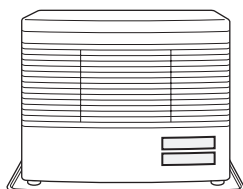
設定温度 現在温度

高温運転の使用

- 放熱器にパネルヒーターなどを使用し、循環水温度の設定を64℃より高くしたい場合は、高温運転を「入」にするように販売店に依頼してください。
- 高温運転を「入」にすると、設定温度が「Hi」表示となり、循環水温度を72℃に制御します。
- 高温運転中は湯温設定は受け付けません。「さげる」「あげる」を押すと「高温設定中です。温水暖房の温度変更はできません」と音声でお知らせします。



- 湯温調節は部屋の温度調節ではありません。湯温を上げすぎないように注意してください。
- 凍結防止及び腐食防止のために当社純正の不凍液をご使用ください。
- 床パネルなどの放熱器の設置条件や室内の温度条件によっては、設定湯温まで上がらないことがあります。
- 高温運転の設定は設置時に行い、使用中は切替えないでください。
- パネルヒーターなどを使用しない場合は、高温運転を「入」にしないでください。

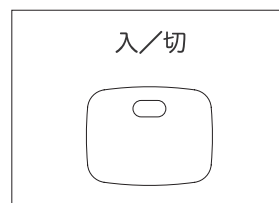


1

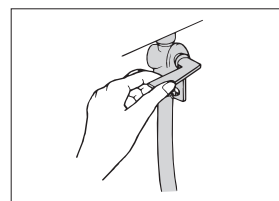
■ 消火

1 運転スイッチを再度押して、「切」にする

- 運転ランプが消灯し、「消火します」と音声でお知らせします。
- 温度表示と火力表示が消え、現在時刻だけ表示し、10秒後バックライトが暗くなります。



2 油タンクの送油バルブを閉じる



3 消火を確認する

- 対流用ファンはストーブが冷えるまでの約8分間回り続けます。

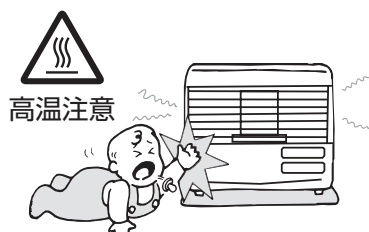


- 長期間留守にするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグは対流用ファンが停止してから抜いてください。
- 電源プラグをコンセントから抜いて運転を停止しないでください。
ストーブが過熱し、故障の原因になります。
- お出かけになるときは、必ず運転スイッチを「切」にして消火してください。

■ 使用上の注意

高温部に注意

- ストープの前面ガードなどは高温です。やけどに注意してください。
- 特にお子様をストーブに近づけないでください。保護ガード(関連部材)のご使用をおすすめします。
- 前面ガードを開いたまま使用しないでください。放熱器やガラスなどの高温部に誤ってふれますとやけどをします。
- 給排気筒トップや排気管は高温です。やけどに注意してください。



低温やけどに注意

- 長時間皮膚の同じ場所に触れないでください。比較的低い温度(40℃～60℃)でも低温やけどや脱水症状の原因になります。次のようなかたがご使用になるときは、まわりのかたが常に注意してあげてください。
- 乳幼児、お子様、お年寄り、病人や身体の不自由なかた
- 皮膚の弱いかた ● 睡眠薬などを服用されたかた
- 深酒、疲労の激しいかた
- 心臓病などで身体を暖めることを医師から止められているかた



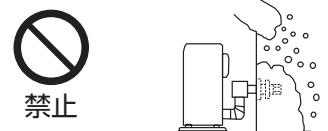
カーペットのはがれに注意

- カーペットがずれたり、めくれたまま使用しないでください。床パネルに直接触れると、やけどのおそれがあります。



給排気筒トップ閉そく危険

- 給排気筒トップの周りが雪でふさがれたまま使用しないでください。ふさがれているときは、除雪してください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。



凍結防止及び腐食防止についての注意

- 循環水には凍結防止及び腐食防止のため必ず当社純正の温水暖房用不凍液を使用してください。不凍液は割合を守って入れてください。
- 他の不凍液を使用したり、混合したりすると製品の寿命が短くなります。
- 指定の不凍液をご使用にならないことによる熱交換器・配管回りの、凍結・破損・腐食については、保証いたしかねます。

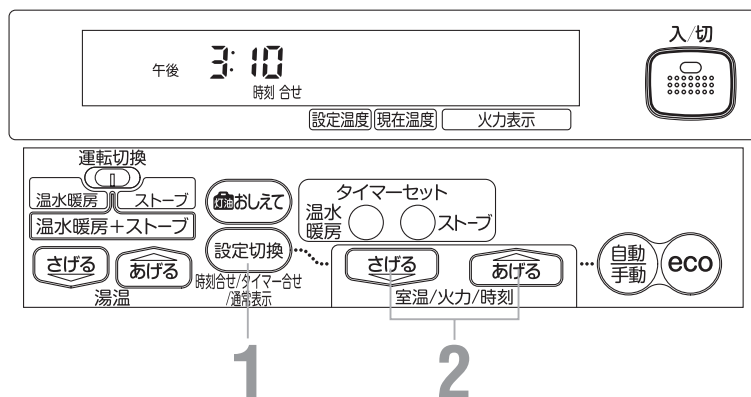
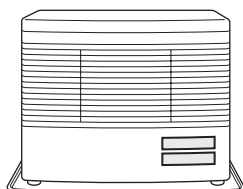
循環液(不凍液、補充液)の保管に注意

- 循環液(不凍液、補充液)は幼児の手の届かない所に保管してください。万一、飲んだ場合にはすぐに吐かせて、医師の診断を受けてください。



雷時の注意

- 雷が接近したときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。激しい雷の影響でストーブが故障するおそれがあります。
- シーズンオフのように長期間使用しないときは電源プラグを抜いてください。また、シーズン始めに使用される場合は、使用前の準備(13～14ページ)や試運転(52ページ)の項を参照して確認および操作をしてください。
- ガラスには水をかけたり、衝撃をあたえたりしないでください。ガラスが割れ危険です。
- ストーブ前面付近は、ふく射熱が強いので熱に弱いものを置いたり、敷いたりしないでください。変色や変形することがあります。



時刻合せ

- はじめて使用するときや停電後、表示が **----** になっている場合には、時刻合せを行ってください。

停止中でも運転中でも合せることができます。

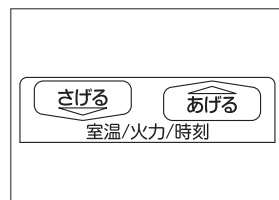
1 設定切換ボタンを押して、『時刻合せ』を表示させる

- 「時刻合せができます」と音声でお知らせします。



2 室温・火力調節ボタンの「さげる」「あげる」を押す

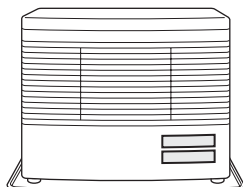
- 時刻合せ中は『時刻合せ』が点滅します。
- 「あげる」(時刻送り) ボタンを押すと時刻は順に進み、「さげる」(時刻戻し) ボタンを押すと逆に進みます。
- ボタンを押し続けると早送りになります。
- 10秒間操作がないと『時刻合せ』が消え、現在時刻表示に切り替わります。
- 長時間停電があると記憶が解除されます。再設定してください。



省電力表示機能の解除について

運転スイッチが「切」のとき時計表示をさせたい場合は、室温・火力調節の「さげる」と eco ボタンを10秒以上押してください。液晶表示部に『LEd OFF』と表示するので、室温・火力調節の「あげる」を押してください。表示が『LEd on』に切り、省電力表示機能を解除します。「さげる」を押すと『LEd OFF』と表示が切り、省電力表示機能が有効になります。設定したい内容を表示させて設定切換ボタンを押し、通常の表示に戻せば設定完了です。(15秒間操作がない場合も通常の表示に戻ります。)

使用方法 つづき



■ タイマー運転 ストーブタイマー時刻合せ

- 寒い朝などおめざめ前にお好みの時刻に運転を開始します。

停止中でも運転中でも合せることができます。

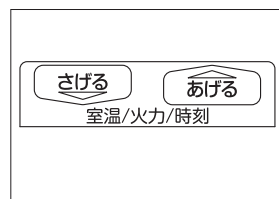
1 設定切換ボタンを押して、『タイマー』『合せ』を表示させる

- 「ストーブタイマー時刻合せができます」と音声でお知らせします。
- 先に時刻合せを行っていないとタイマー時刻合せはできません。



2 室温・火力調節ボタンの「さげる」「あげる」を押す

- タイマー時刻合せ中は『タイマー』『合せ』が点滅します。
- 分は5分きざみで動きます。
- 「あげる」（時刻送り）ボタンを押すと時刻は順に進み、「さげる」（時刻戻し）ボタンを押すと逆に進みます。
- ボタンを押し続けると早送りになります。
- 10秒間操作がないと『タイマー』『合せ』が消え、現在時刻表示に切り替わります。
- タイマー時刻は一度設定すると記憶されますので、次から設定する必要はありません。
- 長時間停電があると記憶が解除されます。再設定してください。



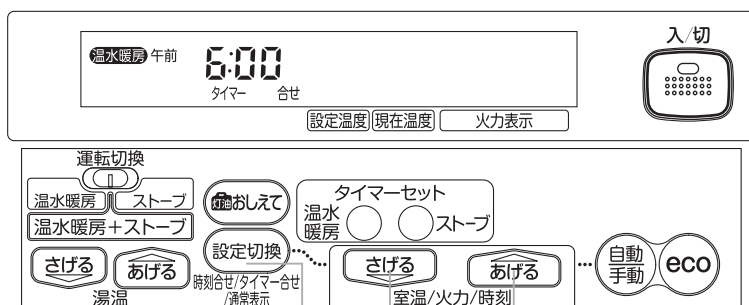
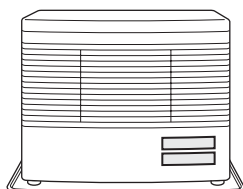
バックライト(照明)の明るさ調節について

タイマー待機時バックライト(照明)の明るさを調節することができます。以下の手順を参考にして設定してください。

- ① 運転スイッチ「切」時に温水暖房タイマーボタンを5秒以上押してください。
- ② 「ピピピッ」とブザーが鳴り、液晶表示部の表示が右の図(出荷時の場合)へ切り換わります。(操作音を消音設定している場合は、ブザーは鳴りません。)
- ③ 右の図の状態から室温・火力調節ボタンの「さげる」「あげる」を押して、お好みの明るさに調節してください。バックライトの明るさは4段階に調節できます。(火力表示が示す明るさは右の表を参照してください。火力表示は、2本ずつ増減します。)
- ④ 設定したい内容を表示させて、設定切換ボタンを押し、通常表示に戻せば設定完了です。(15秒間操作がない場合も通常表示に戻ります。)



火力表示	明るさ
	最も明るい
	明るい
	暗い(出荷時)
	最も暗い



■ タイマー運転 温水暖房タイマー時刻合せ

- 寒い朝などおめざめ前にお好みの時刻に運転を開始します。

停止中でも運転中でも合せることができます。

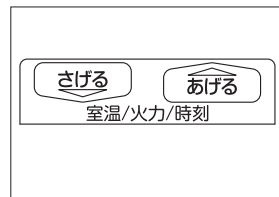
1 設定切換ボタンを押して、『タイマー』『合せ』を表示させる

- 「温水暖房タイマー時刻合せができます」と音声でお知らせします。
- 先に時刻合せを行っていないとタイマー時刻合せはできません。

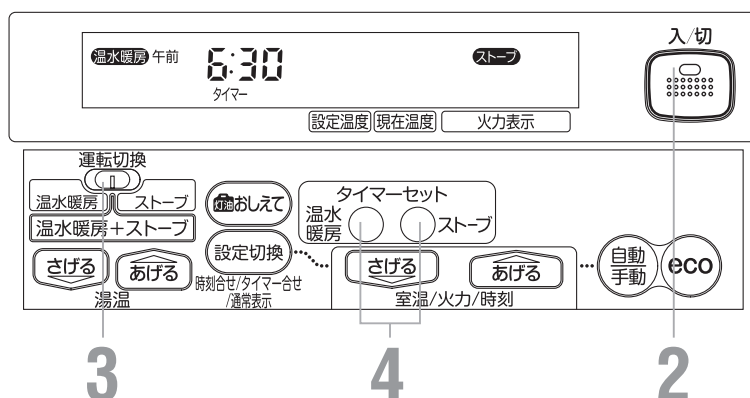
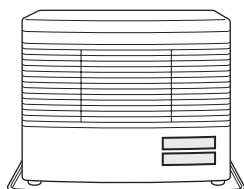


2 室温・火力調節ボタンの「さげる」「あげる」を押す

- タイマー時刻合せ中は『タイマー』『合せ』が点滅します。
- 分は5分きざみで動きます。
- 「あげる」(時刻送り) ボタンを押すと時刻は順に進み、「さげる」(時刻戻し) ボタンを押すと逆に進みます。
- ボタンを押し続けると早送りになります。
- 10秒間操作がないと『タイマー』『合せ』が消え、現在時刻表示に切り替わります。
- タイマー時刻は一度設定すると記憶されますので、次から設定する必要はありません。
- 長時間停電があると記憶が解除されます。再設定してください。



使用方法 つづき



■ タイマー運転 タイマー点火

1 油タンクの送油バルブを開く

2 運転スイッチを押して、「入」にする

- 運転ランプが点灯し、「点火します」と音声でお知らせします。
- 燃焼中にセットする場合、運転スイッチを「入」にする必要はありません。



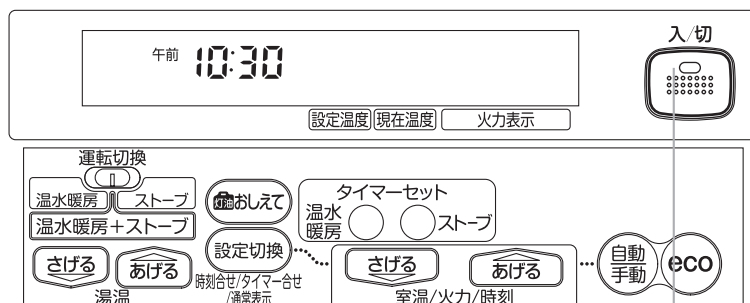
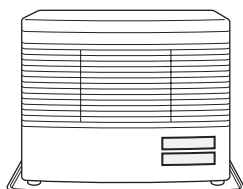
3 お好みの運転を予約する

- 「運転切替スイッチ」でお好みの運転に切替えてタイマー設定・予約をします。
- 自動／手動運転・eco運転を設定することができます。
(自動/手動・eco運転の設定はタイマーセット後でも設定することができます。)

4 タイマーボタンを押す

- 『タイマー』『合せ』とタイマー時刻を表示し、「ストーブタイマーをセットしました」「温水暖房タイマーをセットしました」と音声でお知らせします。
- 15秒間操作がないと『タイマー』と現在時刻を表示します。
- 『タイマー』『合せ』表示中はタイマー時刻を設定することができます。
(燃焼中にセットする場合、ストーブ表示もしくは温水暖房表示が点滅し消火します。)
(タイマー待機中は、ストーブ表示・温水暖房表示が点滅し、運転が開始すると点灯になります。)



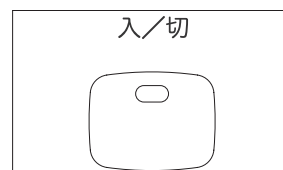


1

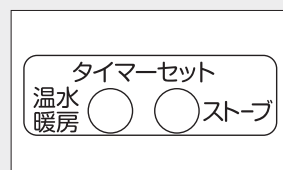
■ タイマー運転の解除

1 運転スイッチを再度押して、「切」にする

- 『タイマー』が消え、バックライトが明るくなり、「タイマーを解除しました、消火します」と音声でお知らせします。
(バックライトは10秒後暗くなります。)

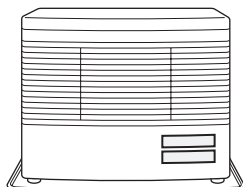


- タイマー時刻前に点火する場合は、再度タイマーボタンを押してください。『タイマー』が消え、「タイマーを解除しました、点火します」と音声でお知らせします。



- 時刻合せをしていないとタイマー運転はできません。先に時刻合せを行ってください。(22ページ参照)
- タイマー運転をする場合は、周囲に可燃物があったり、その他危険な状態のないことを確認してください。
- お出かけのときはタイマー運転をしないでください。予想しない事故が発生するおそれがあります。
- 停電したときや運転中にチェックモードが表示されたときは、タイマー運転は解除されます。

使用方法 つづき



1,1

eco(エコ)運転(ストーブ、自動運転時)

●比較的暖い時期など、設定室温より室温が上がりすぎるときにご使用ください。燃焼・消火を繰り返し、室温を調節します。

1 ecoボタンを押す

- 『eco』を表示し、「eco (エコ) 運転をセットしました」と音声でお知らせします。
- 室温が設定室温と同じ又はそれ以上になると『eco』が点滅となり、その状態が2分間続くと、ストーブ表示が点滅となり消火します。
(ストーブが冷えるとストーブ表示は点灯に変わりますが『eco』は点滅を継続します。)
- 再点火は室温が設定室温より2℃低くなったとき、『eco』が点滅から点灯に変わり、点火します。
- eco運転は燃焼・消火をくりかえしますので、室温の変動が大きくなります。
- 消火・点火条件を変更することができます。(28ページ参照)



eco (エコ) 運転の解除

1 ecoボタンを再度押す

- 『eco』が消え、「eco (エコ) 運転を解除しました」と音声でお知らせします。

eco運転は手動運転にしますと自動的に解除されます。



- eco運転を連続して使用しますと、ガラスにすすが付くことがあります。ときどきeco運転を解除し、火力を中～大で1～2時間燃焼させてください。
- eco運転は一度セットすると記憶されます。運転スイッチを「切」にして消火しても解除されません。
- 長時間停電したときは、eco運転は解除されます。

eco (エコ) 運転時の消火・点火温度条件の調節について

eco運転時の消火・点火の温度条件を調節することができます。

以下の手順を参考にして設定してください。

- ①運転スイッチが「切」の状態でもecoボタンを3秒以上押してください。
(バックライトが消灯しているときや省電力表示中でも操作できます。)
- ②液晶表示部の表示が『Eco*』 (*は設定値) へ切り替わります。
- ③『Eco*』の状態から室温・火力調節ボタンの「さげる」「あげる」を押すごとに、

「0」↔「1」↔「2」

と切り替わります。

※出荷時は「0」に設定されています。

- ④設定したい内容を表示させて設定切換ボタンを押し、通常の表示に戻せば設定完了です。
(15秒間操作がない場合も通常の表示に戻ります。)



表示例

	「0」 (※)	「1」	「2」
消火温度 (設定室温に対して)	±0℃	+1℃	+2℃
点火温度 (設定室温に対して)	-2℃	-1℃	±0℃

※出荷時設定

音量調節と音声機能について

設定により、音量調節、音声を出なくすることができます。

各設定は、運転スイッチが「切」の状態で行ってください。

設定中にわからなくなった場合は、室温・火力調節ボタンの「さげる」と「あげる」を同時に押すと出荷時の設定になります。

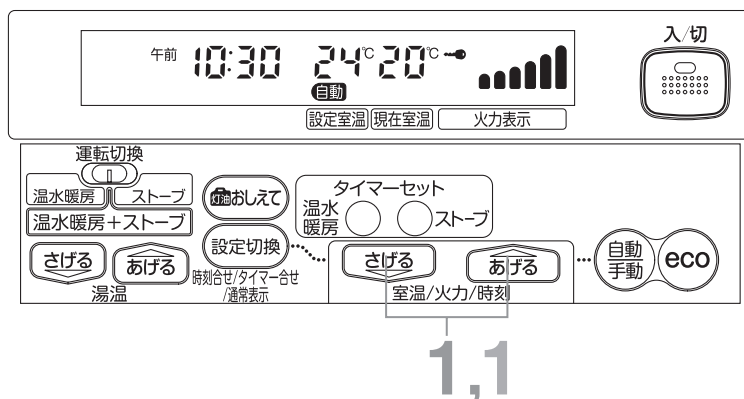
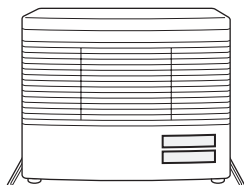
音量調節方法

- ①設定切換ボタンと、自動/手動ボタンを3秒以上長押しすると、室温表示部に『Vol』と火力表示(出荷時4本)を表示し、「音量を設定できます」と音声でお知らせします。
- ②室温・火力調節ボタンの「さげる」「あげる」を押すと火力表示が増減して8段階に音量が変更でき、火力表示を全て消すと、受付音および音声が出なくなります。
(Vol0でもエラー発生時は音声でお知らせします。)
- ③設定したい内容を表示させて設定切換ボタンを押すと設定が確定し、通常の表示に戻せば設定完了です。
(15秒間操作がない場合も通常の表示に戻ります。)

音声機能のOFF

- ①設定切換ボタンとecoボタンを3秒以上長押しすると、室温表示部に『off』を表示し、「音声を設定できます」と音声でお知らせします。
- ②室温・火力調節ボタンの「さげる」を押すと『OFF』を表示して音声が出なくなり、受付音などブザーだけ出るようになります。室温・火力調節ボタンの「あげる」を押すと『on』を表示して音声が出るようになります。
- ③設定したい内容を表示させて設定切換ボタンを押すと設定が確定し、通常の表示に戻せば設定完了です。
(15秒間操作がない場合も通常の表示に戻ります。)

使用方法 つづき



1,1

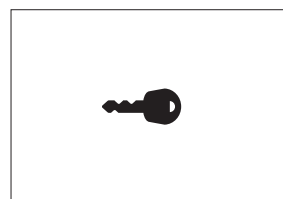
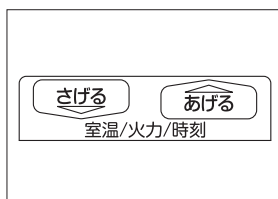
チャイルドロックについて

お子様などによるいたずら操作の防止や、誤って運転スイッチを押しても点火しないようにしたいときに使用します。

チャイルドロック ●子供などによるいたずらを防止します。

1 室温・火力調節ボタンの「さげる」「あげる」を3秒以上同時に押す

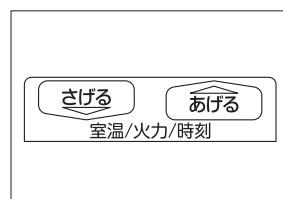
- 「ピー」とブザーが鳴り、『』を表示し、「チャイルドロックしました」と音声でお知らせします。
- 運転スイッチを「切」にすること以外の操作を行うと、「チャイルドロック中です」と音声でお知らせし、操作を受け付けません。



チャイルドロックの解除

1 室温・火力調節ボタンの「さげる」「あげる」を再度3秒以上同時に押す

- 「ピー」とブザーが鳴り、『』が消え、「チャイルドロックを解除しました」と音声でお知らせします。



- 操作音を消音設定している場合は、ブザーは鳴りません。
- 運転切換スイッチを切替えたときは、チャイルドロックを解除した後に切替えます。

■ おしえてNavi[®] (ナビ) 機能

- 「今日」、「昨日」の灯油使用量、リセットした日からの使用日数と使用日数に積算した灯油使用量を表示します。
- おしえてボタンを1回押すごとに、①今日の灯油使用量→②昨日の灯油使用量→③使用日数と積算の灯油使用量→通常表示と表示が切り替わります。
- 表示中に10秒間操作がないと、通常表示に戻ります。

停止中でも運転中でも表示させることができます。

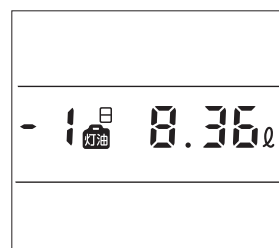
1 おしえてボタンを1回押す

- 灯油表示と『今日』、今日の灯油使用量を表示し、「今日の使用量です」と音声でお知らせします。
- 午前0時から現在までの灯油使用量を表示します。
- 10秒間操作がないと通常表示に戻ります。
- 使用量は0.01L単位で表示し、0.01L未満は表示しません。



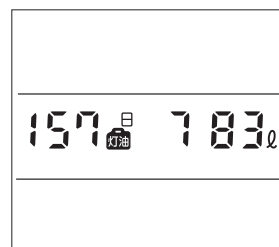
2 おしえてボタンを再度1回押す

- 灯油表示と『-1』、昨日の灯油使用量を表示し、「昨日の使用量です」と音声でお知らせします。
- 前日の午前0時から24時間の灯油使用量を表示します。
- 10秒間操作がないと通常表示に戻ります。
- 使用量は0.01L単位で表示し、0.01L未満は表示しません。



3 おしえてボタンを再度1回押す

- 灯油表示と『使用日数』、『日』と積算の灯油使用量を表示し、「積算の使用量です」と音声でお知らせします。
- 使用日数は午前0時に更新し、一度ストーブの運転スイッチを「入」にすると、使用日数に加算されます。
- 使用日数の表示は最大で「9999」日です。それ以上使用しても変化しませんので、積算値のリセットをしてください。(31ページ参照)
- 灯油使用量の表示は最大で「9999」Lです。それ以上使用しても変化しませんので、積算値のリセットをしてください。
- 10秒間操作がないと通常表示に戻ります。
- 使用量は1L単位で表示し、1L未満は表示しません。

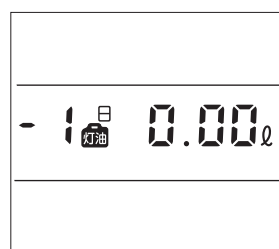


使用方法 つづき

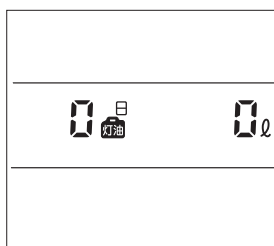
■積算値のリセット

1 リセットさせたい項目を表示させて、 おしえてボタンを3秒以上押す

- 「積算をリセットしました」と音声でお知らせします。
- 今日の灯油使用量、昨日の灯油使用量をリセットすると灯油の使用量が「0」にリセットされます。



- 積算の灯油使用量をリセットすると使用日数、灯油使用量が「0」になります。
- 積算の灯油使用量をリセットすると、「今日」「昨日」の灯油使用量もリセットされます。



- 時刻合せをしていない場合や停電などで現在時刻がリセットされた場合は、灯油の使用量、使用日数は表示されません。先に時刻合せを行ってください。(22ページ参照)
- 灯油使用量はめやすです。実際の使用量と一致しないことがあります。
- 灯油使用量、使用日数は記憶され、停電の場合でもリセットされません。

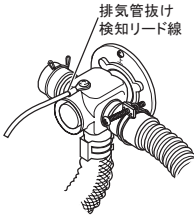
安全装置

● 異常が生じたとき、自動的に消火する装置です。

- 安全装置が作動した場合、運転スイッチを「切」にし、ストーブが冷えてから下記の処置をしてください。

安全装置のなまえ ● 作動の原因	チェックモード	処 置 の 方 法
対震自動消火装置 ● 地震(震度5程度以上)のとき ● 強い振動や衝撃を受けたとき	E-02	ストーブの周囲や給気管・排気管の外れやゆるみ、油漏れなどの異常がないことを確認し再点火操作してください。
停電安全装置 ● 停電したとき ● 電源プラグが抜けたとき	E-00	通電後、再点火操作してください。
温風過熱防止装置 ● エアーフィルタにほこりがたまったり、エアーフィルタがカーテンなどでおおわれたとき	E-07	エアークフィルタの掃除や障害物などの原因を取り除いてから再点火操作してください。(35ページ参照)
点火安全装置 ● 点火不良	E-03 E-33	次のことを確認し、再点火操作してください。 ● 油タンクの送油バルブが閉じられていないか。 ● ゴム製送油管に空気だまりがないか。(52ページ参照) ● 定油面器の安全装置が作動していないか。(13ページ参照)
燃焼制御装置 ● 途中で火が消えたとき	E-05 E-35	● 再びチェックモードが表示される場合には、お買い求めの販売店又は最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。
温水過熱防止装置 ● 温水回路が閉止されたとき(ストーブ単独で使用できます。)	E-16	温水バルブが開いているか、温水配管がつかったり、つぶれていないか確認し、再点火操作してください。
不完全燃焼防止装置 ● 不完全燃焼になった排ガスが室内に漏れたとき	積算作動回数1~2回 E-CC E-60	次のことを確認し、再点火操作してください。 ● 排気管が外れていないか、他の燃焼機器の影響を受けていないか確認してください。(34、40ページ参照) ● 給排気筒トップの先端が外れていないか。(34ページ参照)
【連続不完全燃焼通知機能】 ● 連続して不完全燃焼防止装置が作動したとき	積算作動回数3回 CCCC (点滅)	● 再びチェックモードが表示される場合には、お買い求めの販売店又は最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。
【再点火防止機能】 ● 連続して不完全燃焼防止装置が作動したとき	積算作動回数4回 CCCC (点灯)	室内の換気を行い、お買い求めの販売店又は最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。 『CCCC』が点灯するとストーブが使用できなくなります。

その他の装置

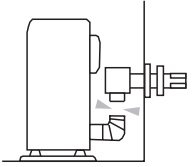
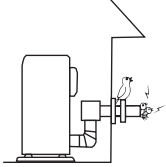
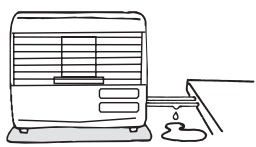
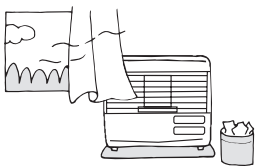
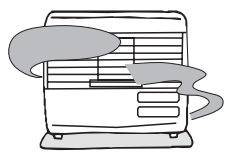
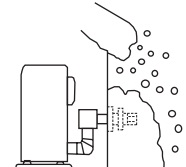
装置のなまえ ● 作動の原因	チェックモード	処 置 の 方 法
排気管抜け検知装置 ● 排気管接続部の外れ ● 排気管抜け検知リード線が外れたり断線したとき	E - 19	排気管や排気管抜け検知リード線を点検し、確実に接続してから再点火操作してください。  排気管抜け 検知リード線
空だき防止装置 ● 配管に空気が溜りがあるとき ● 循環水が不足したとき ● 循環水の水位が低下すると、給水表示が点灯し温水暖房運転ができません。 (ストーブ単独で使用できません。)	給水表示点灯	■UFH-994TBFSの場合 ● 循環水の水位を確認し再点火操作してください。(35ページ参照) ● 再び給水表示が点灯する場合には、お買い求めの販売店又は最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。 ■UFH-994TBFMの場合 ● 空気抜きを行い、再点火操作してください(44ページ参照) ● 再び給水表示が点灯する場合は修理を必要とします。 使用を中止しお買い求めの販売店又は最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。

日常の点検・手入れ

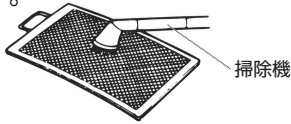
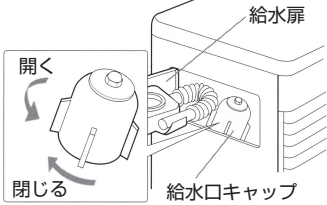
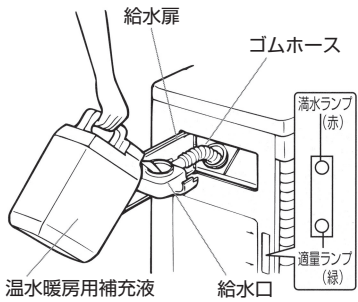
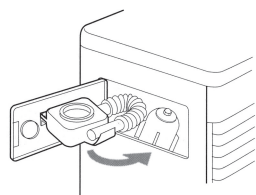
■点検・手入れのときの注意

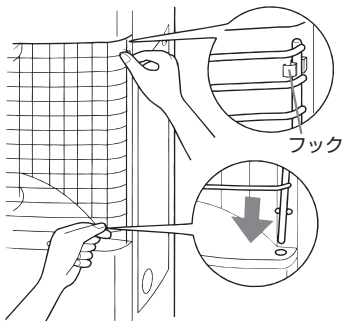
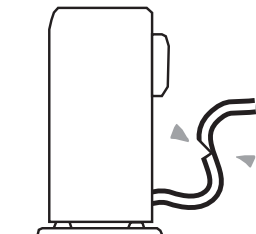
- 必ず運転スイッチを「切」にして、ストーブの運転を停止し、ストーブが冷えた状態で行ってください。

■点検・手入れの必要項目、時期、方法

時期	点検・手入れ項目	方	法
シーズンはじめ	給気ホース 排気管	●給気ホース・排気管の接続箇所が外れていないか点検します。 ●給気ホースが排気管にあたっていないか点検します。	
	給排気筒トップ	●室外の給排気筒トップが鳥の巣やビニール袋などでふさがれていないか点検します。	
使用ごと	油漏れ・油のたまり・油のにじみ	●ゴム製送油管や置台に油漏れ、油のたまり、油のにじみがないか点検します。	
	水漏れ	●温水配管に水漏れがないか点検します。 ●循環水の減りが早い場合には、床暖房パネルや温水配管等から漏れていることが考えられますので、点検を依頼してください。	
	周囲の可燃物・引火物	●ストーブの上や周囲・給排気筒トップの周囲に可燃物、引火物がないか点検します。	
	排ガスの漏れ	●排ガスのにおいや、目がチカチカしないか点検します。排ガスが漏れていますと危険です。	
	給排気筒トップ	●給排気筒トップが雪や氷でふさがれていないか点検します。ふさがれていると異常燃焼することがあり危険です。	

日常の点検・手入れ つづき

時期	点検・手入れ項目	方 法
週 に 1 回 以 上	エアーフィルタ	ストーブ背面のエアーフィルタに付いたほこりを掃除機などで取り除きます。  
	循環水 (UFH-994TBFMは除く)	- 循環水の水位を確認し、水位表示の適量ランプ（緑）が消えている場合、次のように補給します。 - 水位確認は、必ずストーブが停止し、循環水が冷えた状態で行ってください。 1 給水扉を開く。 2 給水口キャップを外す。 3 ゴムホースを水タンクに差し込む。 4 給水口より温水暖房用補充液を入れる。適量ランプ（緑）が点灯したら一度補給をやめ、約200cc 補給する。補給中に満水ランプ（赤）が点灯した場合は補給をやめ、付属のスポイトで適量ランプ（緑）が消灯するまで抜く。再び補給し、適量ランプ（緑）が点灯したら一度補給をやめ、約200cc 補給する。 5 給水口キャップを右に回して確実に閉める。 6 ゴムホースを給水口のU字みぞにはめて、給水扉を閉める。    - 循環水の水位が低下しますと、給水ランプが点灯し、温水暖房運転できません。
		●使用しているとき、水位がいちじるしく低下する場合は、温水配管部の漏れを確認してください。 ●循環水は満水ランプ(赤)が点灯するまで補給しないでください。使用中に循環水があふれることがあります。 ●不凍液での補給はしないでください。濃度が上がり故障の原因になります。

時期	点検・手入れ項目	方 法
週に1回以上	(UFH-994TBFMは除く) ● 循環水は温度が上昇しますと膨張しますので、運転中や停止後しばらくは満水ランプ（赤）が点灯することがあります。 ● 設置当初や温水暖房の使い初めに、熱交換器から「ジュジュ」と時々音が出る場合がありますが異常ではありません。	
月に1回以上	ストーブ外観 安全のため、電源プラグをコンセントより抜いてから行ってください。	● ストーブ・置台・反射板などのほこりや汚れは、乾いたやわらかい布などできれいにふきとります。 ● シンナー・アルコール・ベンジンなどは使用しないでください。 前面ガードの外しかた ● 前面ガードの右側上部をフックから外し、棒を下部の穴から引き抜き、手前に開きます。 
1シーズンに2～3回	ゴム製送油管	● ギョム製送油管にひび割れが生じていないか点検します。 ● ギョム製送油管は経年変化しますので3年に1度新しい物に交換してください。 ● 交換はお買い求めの販売店に依頼、又は最寄りの工場・支店・営業所にご相談ください。 
	電源プラグ	● 電源プラグにほこりが付着していないか点検します。
給油のとき	油タンク	● 油タンク内に水やごみがたまっていないか点検します。 ● 油タンク内の水抜き、ストレーナ（ろ網）の掃除は、油タンク付属の取扱説明書に従って行ってください。 

定期点検

本機器は使用される場所や条件、また使用時間により消耗・劣化する部品がありますので、修理資格者〔(一財)日本石油燃焼機器保守協会(TEL.03-3499-2928)で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など〕による定期点検を受けてください。

定期点検の実施時期

2シーズン毎に1回程度定期点検を受けてください。

ただし、湿度の高いところ、ほこりの多いところ（例えば、厨房室や製綿工場など）、温泉地域などでご使用の場合は、1シーズン毎の点検が必要となりますのでお買い求めの販売店にご相談ください。

定期点検

定期点検は専門の技術者が、設置状態、給排気まわりの点検・安全装置及び運転動作の点検・確認、使用時間により消耗劣化しやすい部品の点検などを行います。

安全にお使いいただくために製品の状態を点検診断するものですから必ずを受けてください。

お申し込み先

お客様→お買い求めの販売店又は最寄りの工場・支店・営業所

定期点検費用

定期点検の費用についてはお買い求めの販売店又は最寄りの工場・支店・営業所にご相談ください。定期点検の結果、部品交換及び修理などが必要な場合は、処置内容及び費用についてお客様にご相談申し上げます。

定期点検の内容

定期点検の内容	項 目
設置状態、給排気まわりの点検・確認	● 製品の設置・使用状態 ● 給排気筒接続とつまり ● 給排気筒トップのつまり ● 送油経路部の油漏れ（ゴム製送油管含む） ● 温水経路部の水漏れ
安全装置及び運転動作の点検・確認	● 安全装置の働き ● 運転動作の点検 ● 操作部品や動く部品の働き ● 不完全燃焼防止装置（検知部）
環境・使用時間により劣化しやすい部品の点検・交換	● 点火ヒータなどの点検 ● 給排気部品・排気管接続用Oリングなどの点検 ● バーナ・燃焼リング・赤熱筒などの点検 ● 各種送風機、循環ポンプの点検 ● 各種パッキンの点検 ● ガラスの点検（劣化の状態により交換の場合もあります。）
製品の清掃・整備	● 本体内 ● エアフィルタ・ファン ● オイルフィルタ ● 油タンクの水抜き ● 放熱器 ● 熱交換器 ● 送油経路
循環水の点検・交換	● 循環水は6～7年を目安に入れ替えてください。 ● 凍結防止及び腐食防止のために当社純正の不凍液をご使用ください。

設計上の標準使用期間について

設計上の使用期間の表示と説明

- 本製品は設計上の標準使用期間を8年と算定しており、適切な点検を行わず、この期間を超えて使用すると経年劣化による発火・けが等の事故の原因になるおそれがあります。
- 設計上の標準使用期間とは、製品ごとに設定した設計的に想定した標準的な使用（下記の＜設計上の標準使用期間の算定の根拠＞参照）による使用期間をいいます。
- 設計上の標準使用期間を過ぎる製品の使用については、経年劣化により安全性が損なわれ、ひいては重大事故に至るおそれがあります。そのため設計上の標準使用期間は、使用者が不具合なく製品を使用しても点検・取替えの検討を開始するための目安（指針）とするものです。また、設計上の標準使用期間は、無料保障期間とは異なります。

設計上の標準使用期間の算定の根拠

本製品の設計上の標準使用期間は、製造年月を始期とし、日本産業規格JIS S 2073の「家庭用密閉燃焼式石油温風暖房機の標準使用条件、標準加速モード及び試験条件」に基づき右表の標準使用条件を想定し、当社において耐久試験等を行った結果算出された数値などに基づき経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した期間を終期として、設計上の標準使用期間を設定しています。

標準使用条件

項目	条件
1. 年使用時間	2,500時間
2. 換気回数	1回／h
3. 使用条件	—
・ 電源電圧／周波数	100V ／ 50Hz/60Hz
・ 暖房設定温度	22℃

標準的な使用条件と異なる使用をした場合の留意点

- 製品の使用条件又は使用頻度が、その根拠となった数値よりも高い場合
- 製品が目的以外の用途で使用された場合
- 標準的な使用環境と異なる環境で使用された場合
- 業務用（ホテル・喫茶店・理髪店・美容院・飲食店・事務所等）で使用した場合
- その他経年劣化を特に進める事情が存在する場合

上記のような使用をした場合は、設計上の標準使用期間よりも短期間で製品が経年劣化し、安全上支障が生じるおそれが多くなります。

清掃等の日常的に行うべき保守の内容とその方法

- 製品を安全にご利用いただくためには、お客様においても日常的に清掃や安全確認を行っていただくようにお願いします。
- 点検・手入れは必ず消火後、電源プラグを抜き、製品が冷えてから行ってください。
- 点検・手入れの際は手袋などの保護具を着用してください。
- 部品の分解・整備は絶対にしないでください。
- 油漏れなどの異常がある場合は、販売店又は最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。
- 詳しくは日常の点検・手入れの項を参照してください。

設計上の標準使用期間について つづき

あんしん点検に関する事項

設計上の標準使用期間の8年になりましたらあんしん点検（有料）を受けてください。

- 点検料金について
 - ・ 点検費用はお客様にご負担いただくことになります。
 - ・ 点検料金は技術料、出張料などを合計した金額となります。
- 各地域の点検などに関するお問い合わせは、お買い求めの販売店又は最寄りの工場・支店・営業所で対応します。
- あんしん点検では、その時点での技術基準に適合しているかを確認するもので、その後の安全を担保するものではありません。また、あんしん点検は整備ではありません。
- あんしん点検の結果、整備・修理が必要となった場合は、別途整備・修理費用が発生します。
- あんしん点検後、整備に必要な部品は補修用性能部品とは異なることがあります。
- あんしん点検の結果、修理が必要となった場合は修理が完了するまで使用できません。

故障・異常の見分け方と処置方法

次のような場合は故障ではありません。

現 象		原 因
点 火 時 ・ 着 火 時	初めて使用するときやシーズン初めに、煙やにおいが出る	耐熱塗料やほこりが焼けるためです。異常ではありません。
	「ピチピチ」や「カンカン」という音がする	本体内部の加熱・冷却時に出る金属の膨張・収縮音です。異常ではありません。
燃 焼 時	青炎の中に赤火が混じる	異常ではありません。
	炎の一部が揺らぐ	異常ではありません。
	「カチカチ」という音がする	電磁ポンプの運転音で、異常ではありません。
	赤熱筒に色ムラがある	異常ではありません。
そ の 他	ガラスが白くなる	灯油中の成分がガラスに付着するためです。異常ではありません。
	デジタル表示部に、1分毎に『88 』または『888 』を1秒間隔で5回点滅表示する	点検時期お知らせ機能による点検時期のお知らせです。故障ではありません。41～42 ページをご参照ください。
	室内側給排気筒が結露する	外気温が低く、室内の湿度が高いためです。異常ではありません。

不完全燃焼防止装置について

不完全燃焼防止装置（検知部）は、室内のガスを検知するセンサーです。センサーはストーブ本体以外の燃焼ガスにも影響を受けます。ストーブを設置している部屋が下記のようになっていないか確認してください。

- 炭火やガス炊飯器、コンロなど他の燃焼機器を室内で使用している。
- ストーブ周囲に部屋の換気口があるなど排気ガスが室外から流入している。

あてはまる場合は一旦使用を中止して十分に換気し、原因を取り除いてから使用してください。

故障・異常の見分け方と処置方法 つづき

異常が生じた場合は下表を参照して、お客様ご自身で処置してください。

現象 原因	運転ランプが点灯しない	点火しない	炎が立上がる	デジタル表示部に表示された チェックモード										処置	参照ページ
				E-00	E-03 E-05 E-33 E-35	E-CC E-60 CCCC (点滅)	E-02	E-07	E-16	E-19	P-on	給表点	水示灯		
電源プラグがコンセントから抜けている	●												電源プラグをコンセントに確実に差し込む	14	
油タンクに灯油がない		●			●								給油する	13	
停電があった				●									運転スイッチを押しなおす	32	
油タンクの送油バルブが閉じている		●			●								送油バルブを開く	32	
定油面器の安全装置が作動している		●			●								リセットボタンを押す	13	
エアーフィルタにほこりがたまっている								●					掃除する	32 35	
エアーフィルタがカーテンでふさがっている								●					カーテンを取り除く	32	
給排気筒トップの先端がふさがれている			●			●							給排気筒トップ先端のしゃ閉物を取り除く	34	
地震や強い衝撃があった								●					ストーブ周囲、油漏れ、給排気筒を点検する	32	
温水配管がつぶれている 温水バルブが閉じている									●				つぶれをなおす 温水バルブを開く	32	
排気管が抜けている						●				●			確実に接続する	33	
循環ポンプが「on」になっている												●	循環ポンプを「OFF」にする	53	
循環水が不足している												●	補給する	35	
													空気抜きをする	44	

以上の方法で点検し、処置してもなおらないときは、使用を中止しお買い求めの販売店又は最寄りの工場・支店・営業所へご相談ください。

修理をお申しつけのときには故障内容をできるだけ詳しく、また表示部に表示されるチェックモードをご連絡ください。

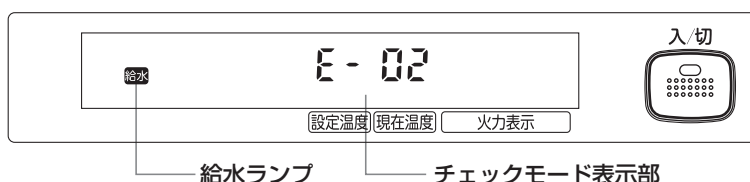
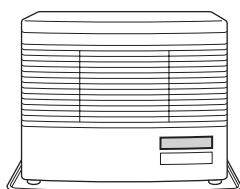
■点検時期お知らせ機能について

下記のチェックモードは点検時期お知らせ機能の表示です。故障ではありません。

- この機器には、点検時期お知らせ機能が搭載されております。
- ストーブの使用時間が設計上の標準使用期間の8年相当を経過すると表示部に『88』を表示(1分ごとに5回点滅)して、点検時期をお知らせします。
- 故障ではありませんのでご使用できますが、あんしん点検(有料)を受けてください。
- 点検に関するお問い合わせは、最寄りの工場・支店・営業所にご連絡ください。
点検のご案内をさせていただきます。
- あんしん点検を受けてから3年相当の使用期間が経過すると表示部に『888』を表示(1分ごとに5回点滅)して点検時期を再度お知らせします。

チェックモード	原因	処置の方法
1分毎に1秒間隔で 5回点滅表示する 88 888	点検時期になった (設計上の標準使用期間経過)	●故障ではありませんのでご使用できますが、 あんしん点検(有料)を受けてください。 ●点検に関するお問い合わせは、最寄りの工場・ 支店・営業所にご連絡ください。 点検のご案内をさせていただきます。

故障・異常の見分け方と処置方法 つづき

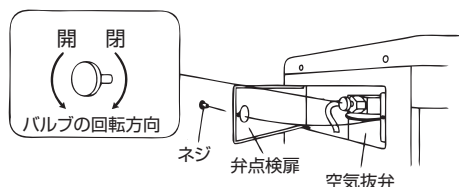


チェックモードに下記のような表示が出たときは、運転スイッチを「切」にし、ストーブが冷えてから下記の処置をしてください。

チェックモード	原因	処置の方法
E-09	点火不良(E-03、E-33)が2回連続して起こった。	安全装置のページでE-03、E-33を確認してください。再びチェックモードが表示される場合には、お買い求めの販売店又は最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。
E-11	炎有り検知した。 (フレームロッドの短絡)	お買い求めの販売店又は最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。(修理までの間、ストーブ又は温水暖房の正常側は運転可能です)
E-12	バーナサーミスタが断線した。	お買い求めの販売店又は最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。(修理までの間、ストーブ又は温水暖房の正常側は運転可能です)
E-13	運転中にバーナサーミスタの温度が低下した。	お買い求めの販売店又は最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。(修理までの間、ストーブ又は温水暖房の正常側は運転可能です)
E-15	運転中に室温サーミスタが断線した。	お買い求めの販売店又は最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。(修理までの間、ストーブの手動・温水暖房は運転可能です)
E-17	温水サーミスタが断線した。	お買い求めの販売店又は最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。(修理までの間、ストーブ運転は可能です)
E-18	ストーブの燃焼用送風機が作動しなくなった。	お買い求めの販売店又は最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。
E-25	バーナサーミスタが短絡した。	お買い求めの販売店又は最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。(修理までの間、ストーブ又は温水暖房の正常側は運転可能です)
E-28	ストーブの対流用送風機が作動しなくなった。	お買い求めの販売店又は最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。(修理までの間、温水暖房運転は可能です)
E-32	点火前にポット内が異常高温だった。	お買い求めの販売店又は最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。(修理までの間、ストーブ又は温水暖房の正常側は運転可能です)
E-38	温水暖房の燃焼用送風機が作動しなくなった。	お買い求めの販売店又は最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。
E-57	不燃防(検知部)が故障した。	お買い求めの販売店又は最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。
E-58	不燃防(検知部)が断線した。	お買い求めの販売店又は最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。

■給水ランプ点灯時の処置方法 (UFH-994TBFSは除く)

運転スイッチを「切」にして器具が停止したら、器具左側の弁点検扉を開き空気抜き弁のバルブを開いて空気抜きを行う。空気が抜けたら再び空気抜き弁を閉め、弁点検扉を閉じて運転を開始してください。空気抜きを行っても給水ランプが点灯する場合は、お買い求めの販売店へご連絡ください。



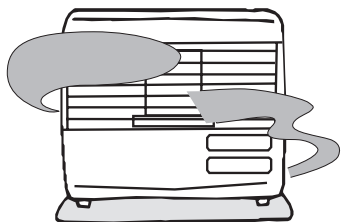
- 空気抜き弁のバルブを開いたままにしますと、循環水がオーバーフロータンクよりあふれ出る事がありますので、空気抜き後は必ずバルブを閉めてください。

このような現象のときは使用を中止し、油タンクの送油バルブを閉じて販売店にご連絡ください

- 使用される場所や条件又は長期間の使用により、下記のような現象が見られる場合には使用を中止して、必ずお買い求めの販売店に修理依頼、又は最寄りの工場・支店・営業所へご相談ください。

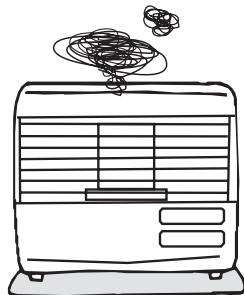
排ガスのにおいがしたり、目がチカチカする

- 排ガスが漏れているおそれがあります。
排ガスが室内に漏れていますと、危険です。



黒煙を出して燃える

- 燃焼が異常になっています。



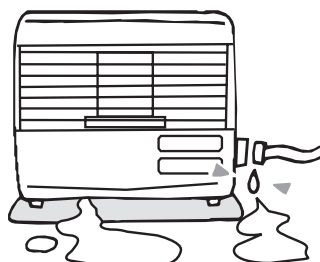
点火・燃焼・消火するときに「ボン」という大きな音がした

- ストープが損傷したり、パッキンが飛散しているおそれがあります。



置台に油が漏れている

- 送油配管より油が漏れています。



部品交換のしかた

- 経年により消耗、劣化しやすい部品があります。
- 異常かなと思われましたら、お買い求めの販売店又は最寄りの工場・支店・営業所にお問い合わせください。個人での不完全な修理は危険です。
- 修理資格者〔(一財)日本石油燃焼機器保守協会で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など〕が修理いたします。

■消耗、劣化しやすい部品

項 目	内 容
使用時間により交換が必要な部品	点火ヒータ・排気管接続用Oリング (JIS B 2401 4種 D P50) 燃焼リング・赤熱筒・各種パッキン・循環ポンプの軸受け・ガラス・ 不完全燃焼防止装置 (検知部)
環境により劣化しやすい部品	給排気筒系部品・制御基板・燃焼用送風機・対流用送風機 ゴム製送油管
不良灯油を使用されて劣化しやすい部品	電磁ポンプ・定油面器

■不完全燃焼防止装置 (検知部)

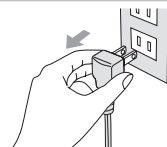
- 不完全燃焼防止装置の検知部は、有効期限までに交換が必要になります。有効期限を過ぎると検知部の感度が鈍くなり、不完全燃焼防止装置が正常に作動しないおそれがあります。
- 不完全燃焼防止装置 (検知部) の有効期限は機器左側面に表示されております。(48ページ参照)
- なお、不完全燃焼防止装置 (検知部) の交換は有料です。

保管(長期間使用しない場合)

- 長期間使用しないとき (シーズン終了時) は、次の要領でお手入れしてください。

1 電源プラグをコンセントから抜く

- ぬれた手で触らないでください。
感電のおそれがあります。



2 ストープ外装、エアーフィルタの掃除をする

(35、36ページ参照)

3 油タンクの送油バルブ、温水バルブを閉じる

4 ストープは据付けたまま保管する

- どうしても取り外して保管するときは、湿気やほこりの少ないところに保管してください。
- 次シーズンに据付けるときには、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。

仕様

型 式 の 呼 び		UFH-994TBFS	
種 類		ポット式、強制給排気形、強制対流形	
点 火 方 式		電気点火	
使 用 燃 料		灯油 (JSI 1号灯油)	
燃 焼 状 態		最 大	最 小
燃 料 消 費 量	床暖房・ストーブ同時運転	12.1kW (1.176L/h)	3.89kW (0.378L/h)
	ストーブ単独運転	5.41kW (0.526L/h)	2.04kW (0.198L/h)
	床暖房単独運転	6.69kW (0.65L/h)	1.85kW (0.18L/h)
発 熱 量	床暖房・ストーブ同時運転	43,560kJ/h	14,000kJ/h
	ストーブ単独運転	19,480kJ/h	7,330kJ/h
	床暖房単独運転	24,080kJ/h	6,670kJ/h
熱 効 率	床暖房・ストーブ同時運転	81.6%	78.1%
	ストーブ単独運転	86.0%	82.9%
	床暖房単独運転	78.2%	72.9%
暖房出力	床暖房・ストーブ同時運転	9.88kW (循環水量 240L/h)	3.03kW (循環水量 240L/h)
	ストーブ単独運転	4.65kW	1.69kW
	床暖房単独運転	5.23kW (循環水量 240L/h)	1.35kW (循環水量 240L/h)
最 大 床 暖 房 出 力		5.23kW (循環水量 240L/h)	
本 体 水 容 量		2.4L	
床暖房用熱交換器の最高使用圧力		100kPa (1.0kgf/cm ²)	
外 形 寸 法		高さ 590mm 幅 750mm 奥行 471mm (置台を含む)	
質 量		41kg	
電 源 電 圧 及 び 周 波 数		100V 50/60Hz	
定 格 消 費 電 力	床暖房・ストーブ同時運転	最大 (点火初期に短時間発生) 980/1000W 点火時 670/680W 燃焼時 87/103W	
	ストーブ単独運転	最大 (点火初期に短時間発生) 645/650W 点火時 335/340W 燃焼時 44/46W	
	床暖房単独運転	最大 (点火初期に短時間発生) 680/710W 点火時 370/390W 燃焼時 72/88W	
待 機 時 消 費 電 力		1.2/1.1W	
電 源 コ ー ド の 長 さ		約2m	
床 パ ネ ル の 接 続 面 積		11.6m ² ~ 43.4m ² (8 ~ 30 畳)	
給 排 気 筒 の 型 式 の 呼 び		FWT-7M-6	
給 排 気 筒 の 呼 び 径		D49	
給 排 気 筒 の 壁 貫 通 部 の 孔 径		83 ~ 96mm	
排 気 温 度		260℃以下	
電 流 ヒ ュ ー ズ		筒型 30mm 12A 1個	
安 全 装 置		対震自動消火装置、停電安全装置、温水過熱防止装置、燃焼制御装置、 温風過熱防止装置、不完全燃焼防止装置	
そ の 他 の 装 置		排気管抜け検知装置	
温 水 配 管 接 続 口		G1/2 オネジ	
付 属 品		置台 (1)、壁固定金具 (2)、床固定金具 (2)、ゴム製送油管 (1.2m) (1)、 ワイヤーバンド小 (2)、ワイヤーバンド大 (1)、給排気筒セット (1)、排気 管断熱カバー (1)、遮熱板 (1)、ストッパーリング (1)、スポイト (1)、 4 × 25 タッピンねじ (5)、取扱説明書 (1)、工事説明書 (1)、温水暖房工 事説明書 (1)	

仕様 つづき

型 式 の 呼 び		UFH-994TBFM	
種 類		ポット式、強制給排気形、強制対流形	
点 火 方 式		電気点火	
使 用 燃 料		灯油 (JSI 1号灯油)	
燃 焼 状 態		最 大	最 小
燃 料 消 費 量	床暖房・ストーブ同時運転	12.1kW (1.176L/h)	3.89kW (0.378L/h)
	ストーブ単独運転	5.41kW (0.526L/h)	2.04kW (0.198L/h)
	床暖房単独運転	6.69kW (0.65L/h)	1.85kW (0.18L/h)
発 熱 量	床暖房・ストーブ同時運転	43,560kJ/h	14,000kJ/h
	ストーブ単独運転	19,480kJ/h	7,330kJ/h
	床暖房単独運転	24,080kJ/h	6,670kJ/h
熱 効 率	床暖房・ストーブ同時運転	81.6%	78.1%
	ストーブ単独運転	86.0%	82.9%
	床暖房単独運転	78.2%	72.9%
暖房出力	床暖房・ストーブ同時運転	9.88kW (循環水量 240L/h)	3.03kW (循環水量 240L/h)
	ストーブ単独運転	4.65kW	1.69kW
	床暖房単独運転	5.23kW (循環水量 240L/h)	1.35kW (循環水量 240L/h)
最 大 床 暖 房 出 力		5.23kW (循環水量 240L/h)	
本 体 水 容 量		1.3L	
床暖房用熱交換器の最高使用圧力		117.6kPa (1.2kgf/cm ²)	
外 形 寸 法		高さ 590mm 幅 750mm 奥行 471mm (置台を含む)	
質 量		41kg	
電 源 電 圧 及 び 周 波 数		100V 50/60Hz	
定 格 消 費 電 力	床暖房・ストーブ同時運転	最大 (点火初期に短時間発生) 1030/1070W 点火時 715/750W 燃焼時 127/151W	
	ストーブ単独運転	最大 (点火初期に短時間発生) 645/655W 点火時 335/340W 燃焼時 42/45W	
	床暖房単独運転	最大 (点火初期に短時間発生) 720/760W 点火時 410/440W 燃焼時 112/136W	
待 機 時 消 費 電 力		1.2/1.1W	
電 源 コ ー ド の 長 さ		約2m	
床 パ ネ ル の 接 続 面 積		11.6m ² ~ 43.4m ² (8 ~ 30 畳)	
給 排 気 筒 の 型 式 の 呼 び		FWT-7M-6	
給 排 気 筒 の 呼 び 径		D49	
給 排 気 筒 の 壁 貫 通 部 の 孔 径		83 ~ 96mm	
排 気 温 度		260℃以下	
電 流 ヒ ュ ー ズ		筒型 30mm 12A 1個	
安 全 装 置		対震自動消火装置、停電安全装置、温水過熱防止装置、燃焼制御装置、 温風過熱防止装置、不完全燃焼防止装置	
そ の 他 の 装 置		排気管抜け検知装置、空だき防止装置	
温 水 配 管 接 続 口		G1/2 オネジ	
付 属 品		置台 (1)、壁固定金具 (2)、床固定金具 (2)、ゴム製送油管 (1.2m) (1)、 ワイヤーバンド小 (2)、ワイヤーバンド大 (1)、給排気筒セット (1)、排気 管断熱カバー (1)、遮熱板 (1)、ストッパーリング (1)、4 × 25 タッピン ねじ (5)、取扱説明書 (1)、工事説明書 (1)、温水暖房工事説明書 (1)、オー バーフロータンク (1)	

アフターサービス

■保証について

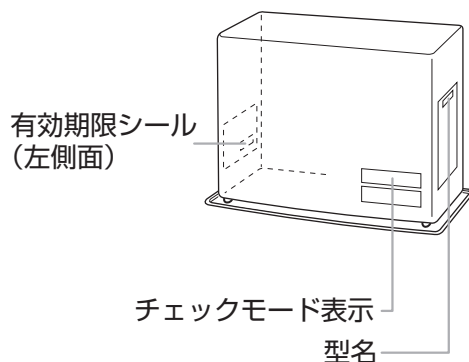
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からのお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

■修理を依頼するときについて

「故障・異常の見分け方と処置方法」に従って点検してください。処置してもなおらないときは、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店又は最寄りの工場・支店・営業所へご連絡ください。

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理いたします。

ご連絡していただきたい内容	
ご住所	
お名前	
電話番号	
製品名	密閉式石油ストーブ
型名	UFH-994TBFS / UFH-994TBFM
お買い上げ日	年 月 日
故障又は異常の内容	できるだけ詳しく（表示部のチェックモード数字など）お知らせください。
訪問ご希望日	



- 保証期間が過ぎているときは、販売店にご相談ください。
修理によって使用できる場合は、ご希望により有料修理いたします。
- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
- ご不明な点や修理に関するご相談は、お買い求めの販売店又は最寄りの工場・支店・営業所へお問い合わせください。

■補修用性能部品について

- 密閉式石油ストーブの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後10年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

据付け・移設

■据付け・移設工事は販売店に依頼する

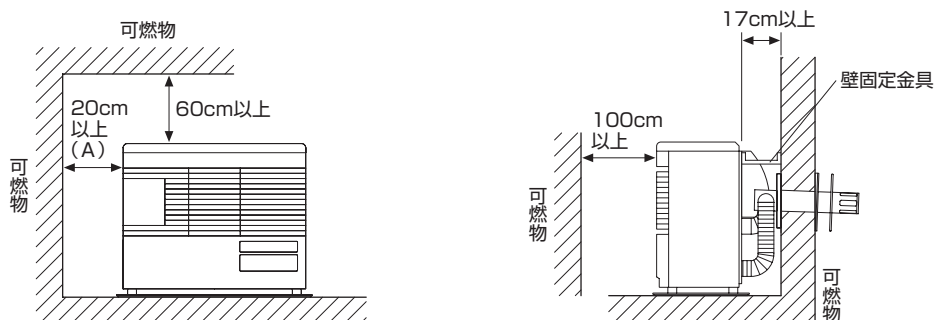
据付けや移設工事は販売店又は据付業者に依頼し、お客様ご自身では行わないでください。

■据付け場所の選定及び標準据付け例

据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。工事説明書の「安全のために必ずお守りください」をお読みにになり販売店又は据付業者とよくご相談してください。また、「標準据付け例」については、下図を参照してください。

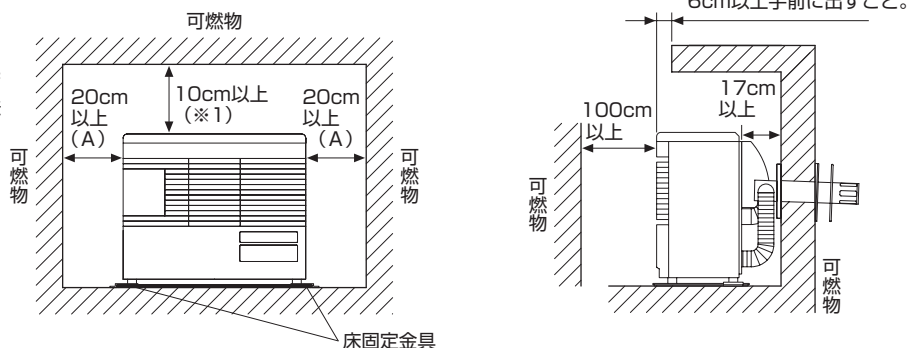
【ストーブから周囲の可燃物までの離隔距離】

- ストーブ右側面と壁面は保守点検のため30cm以上離してください。
- A寸法は保守点検のため20cm以上離してください。
- A寸法を10～30cmまで近づける場合は、前面ガードに附属の遮熱板を取り付けてください。



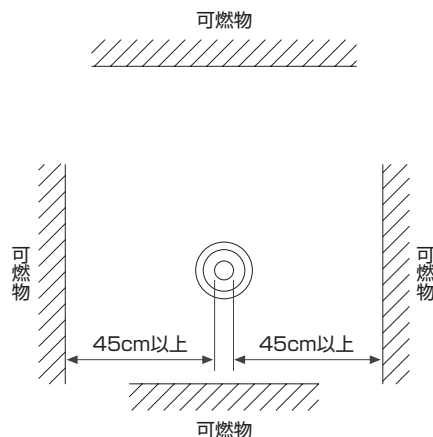
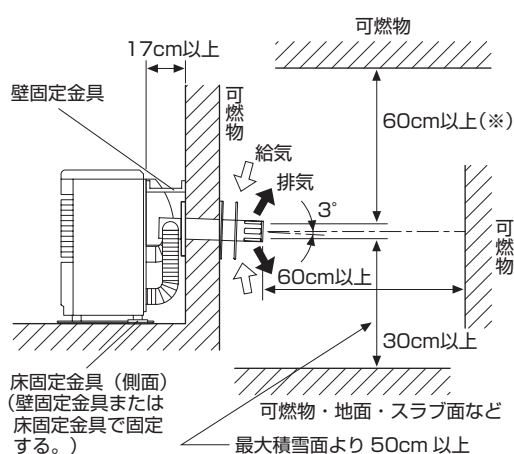
- マントルピースなどストーブが囲われる場所に設置する場合
(ストーブは必ず壁面より6cm以上手前に出すこと。)

※1
防火性能認証品で
すので※印の寸法
で設置できます。



- マントルピースなどストーブが囲われる場所に設置する場合の内部やその周辺は、できるだけ不燃材料又は準不燃材料あるいは防熱板で仕上げを行ってください。
- 上図では可燃物までの離隔距離を示していますが、保守点検や性能維持のため、不燃物などの場合も上図離隔距離としてください。

【給排気筒トップから周囲の可燃物までの離隔距離】



注(※) 60cm以上の寸法は、不燃材を使用する場合は30cm以上とする。

- 給排気筒トップは上方及び両側に気流を阻止する障害物がないこと。
- 雪の多い地方では、最高積雪面より50cm以上離れる場所に、給排気筒を取り付けてください。
- 不燃物の場合でも性能維持のため、上図離隔距離としてください(※部は除く)。

■給排気筒を延長する場合の注意

給排気筒を延長する場合は、3m3曲がり以下で取り付けられる場所を選定してください。

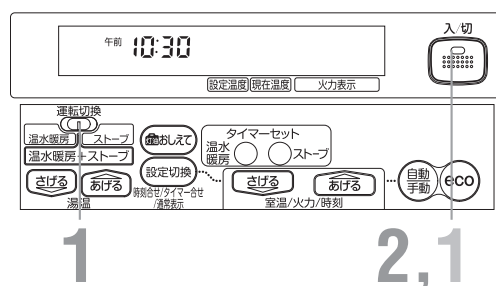
据付け・移設 つづき

■積雪地区における注意

積雪の多い地方では、積雪時に給排気筒が雪でふさがれないような取付場所を選定してください。また、風がよどむような場所では、排ガスを再度吸い込んで不完全燃焼を起こすことがあります。

■据付け後の確認

- 据付けが終わりましたら、もう一度、工事説明書の「安全のために必ずお守りください」をお読みになり、工事説明書に記載されているとおり据付けられているかどうかを確認してください。給排気筒を延長設置している場合、延長長さは3m以下、曲がりには3箇所以下としてください。
- 室温サーミスタ（ルームセンサー）はストーブより外し、部屋の温度を代表できる壁面にピンなどで固定されているかを確認してください。

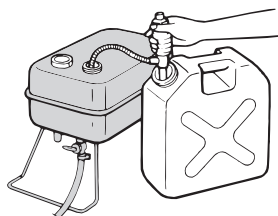


■試運転

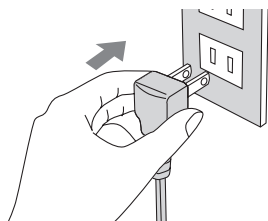
試運転は、販売店又は据付業者とご一緒に必ず行ってください。

運転準備

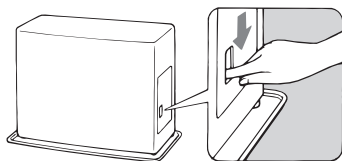
1 油タンクに給油する (13ページ参照)



2 電源プラグをコンセントに差し込む



3 定油面器のリセットボタンを押す (13ページ参照)



確認

- 油タンクや送油管・ゴム製送油管から油漏れがないか。
- 置台の上などに油がこぼれていないか。
- 温水配管から水漏れがないか。
- 温水配管のバルブが開いているか。

運転

1 運転切替スイッチを「温水暖房+ストーブ」に合せる

2 運転スイッチを押して、「入」にする

- 運転ランプが点灯します。
- 約100秒～4分予熱後、着火します。
予熱後対流用ファンが回り、約4.5分間予備燃焼を行います。
- 数十分後に温水配管が温まります。

3 定油面器のリセットボタンを押す (13ページ参照)

- ゴム製送油管に空気がたまっていることがありますので、ゴム製送油管を振って空気を抜いてください。



消火

1 運転スイッチを再度押して、「切」にする

- 運転ランプが消灯します。
- 対流用ファンはストーブが冷えるまでの約8分間回り続けます。

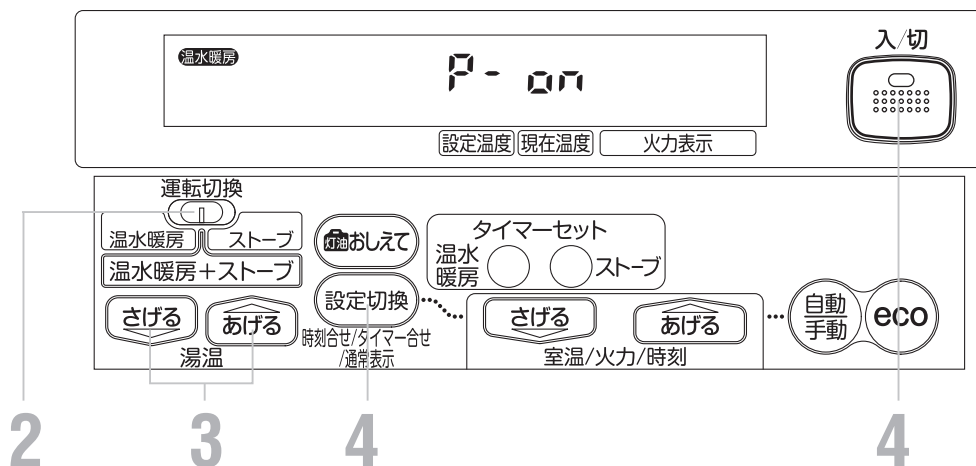
正常運転の目安

- 正常運転の目安として44ページのような現象がないことを確認します。



- ストーブより煙やにおいが出ることがありますが、燃焼室の塗装やパッキン類が焼けるためで異常ではありません。最大燃焼で数十分運転すると消えますので、部屋の換気をしながら試運転してください。

据付け・移設 つづき



■ 試運転時に循環ポンプのみ動かす方法

- 1 運転スイッチが「切」になっていることを確認する。
- 2 運転スイッチを「切」のまま、運転切換スイッチを「温水暖房+ストーブ」又は「温水暖房」に切替える。
- 3 湯温調節ボタンの「さげる」と「あげる」を同時に5秒以上押す。
 - 「ピッ」とブザー音が鳴り、同時に液晶表示部に『P-on』が表示され、循環ポンプが運転します。
 - 循環ポンプ動作中は、**温水暖房** 表示は点滅します。
- 4 設定切換ボタンを押す又は運転スイッチ「入」にし循環ポンプを停止させます。

MEMO

保証書(販売店様控)

型 名	UFH-994TBFS/UFH-994TBFM		
★製造番号	No.	保証期間	1 年
★お買い上げ日	年 月 日	★販 売 店	住所・店名 電話 ()
★お 客 様	お名前 様		
	ご住所 電話 ()		

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

-販売店様へお願い-

- (1)保証書(販売店様控)及び次のページの保証書(お客様控)の★印欄に必ず必要事項をご記入の上、保証書(販売店様控)は切り取り線より切り取って保管し、次のページの保証書(お客様控)は本取扱説明書とともにお客様にお渡しください。
※カーボン紙を差し込んで次のページに複写してください。
- (2)保証書(販売店様控)に記載したお客様の個人情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のため以外には使用しないでください。

修理メモ

保証書(お客様控)

本書は当製品に故障が発生した場合、お買い上げ日より表記期間中、本書記載内容に従って無料修理をお約束するものです。修理を依頼される場合は、お買い求めの販売店に必ず本書をご提示ください。

型 名	UFH-994TBFS/UFH-994TBFM		
★製造番号	No.	保証期間	1 年
★お買い上げ日	年 月 日	★販 売 店	住所・店名 電話 ()
★お 客 様	お名前 様		
	ご住所 電話 ()		

★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずお確かめください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、当製品を無料で修理致します。お買い求めの販売店にご相談ください。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い求めの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買い求めの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入してあるお買い求めの販売店に修理がご依頼できない場合には、裏表紙記載のフリーダイヤルへご相談ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書の提示がない場合、または必要事項の記載がない場合、字句を書き換えられた場合は有料修理になります。

●次の場合は保証期間内でも有料修理になります。

- (1) 住宅用途以外で使用した場合の不具合
- (2) 使用者が適切な使用、維持管理等を行わなかったことに起因する不具合
- (3) 一般家庭用以外に使用したことに起因する不具合
- (4) 専門業者以外による修理、改造等に起因する不具合
- (5) 弊社が定める工事説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解等に起因する不具合
- (6) 建築躯体の変形等、住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせ等の経年変化、または使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
- (7) 海岸付近、温泉地等の地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
- (8) 動物や昆虫等の行為、及び植物の侵入等に起因する不具合
- (9) 火災・爆発・凍結等の事故、台風・落雷・地震・噴火・洪水・津波等の天変地異、または戦争・暴動等の破壊行為による不具合
- (10) 消耗部品の消耗に起因する不具合
- (11) 公害による不具合
- (12) 電気・燃料等の供給トラブル等に起因する不具合
- (13) 指定規格以外の電気・燃料を使用したことに起因する不具合

修理メモ

●お客様へ

- この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い求めの販売店、または裏表紙記載のフリーダイヤルにお問い合わせください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

株式会社 長府製作所 〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1 TEL(083)248-1111

お買い上げ日	年 月 日
販 売 店 名	
	電話番号

●記入しておくで修理などの依頼のときに便利です。

一般のお客様から のお問い合わせは、 フリーダイヤルへ	 0120-925-339 携帯電話からは 0570-666-339 (通話料金がかかります)	お客様から取得いたしました個人情報 は、お客様へのお問い合わせ対応を 目的として利用し、適切に管理します。 修理業務等を委託する場合や正当な理 由がある場合を除き、第三者に開示・ 提供いたしません。
-----------------------------------	---	--

※電話番号をよくお確かめのうえ、おかけ間違いのないようにお願いします。

修理に関する お問い合わせ	24時間365日受付	商品に関する お問い合わせ	平日 8:10～18:00 土日祝 8:10～17:00
------------------	-------------------	------------------	------------------------------------

愛情点検 	長年ご使用の石油暖房機の点検を！	
	こんな症状は ありませんか？ ●水漏れや油漏れがある。 ●煙が出たり、強い臭いがする。 ●運転中にこげくさい臭いがする。 ●異常な音や振動がする。 ●その他の異常や故障がある。	ご使用中止 故障や事故防止のため、運転を停止 してから電源プラグを抜き、送油バ ルブを閉めて、お買い求めの販売店 に点検・修理を依頼してください。

住宅設備機器総合メーカー
株式会社 長府製作所

CHOFU

本社 〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1